



住民同士の支え合い活動 (地域安心生活支え合い事業) 事例集



はじめに

わたしたちのまち金沢には、公私協働・善隣思想に基づく「地域の連帯意識」や「豊かな福祉の土壌」があります。金沢のまちづくりは、先人たちによって培われてきた豊かな地域社会という土台の上に成り立ってきました。

しかし、本市においても、少子・高齢社会にあって、価値観の多様化や人と人の結びつきの希薄化により、家庭や地域社会における支え合い機能が低下し、社会的な孤立に起因する問題が取り上げられるようになってきました。

このような中で、身近な地域で住民同士がつながり、安心・安全な地域を住民自身の手でつくり上げていく取組みとして、「住民同士の支え合い活動」の必要性が高まっています。

本市では、金沢市地域福祉計画 2013 で「新たな共助の構築」を重点目標の一つに掲げ、その具現化事業として平成 25 年度からモデル地区で「地域安心生活支え合い事業」をスタートさせました。その後、平成 28 年度から順次取組み地区を拡大し、「金沢市地域福祉計画 2018」では、基本目標「地域支え合いネットワークづくりの推進」として引き継がれ、令和元年度には 38 地区でそれぞれ地域の特徴に合った取組みが展開されています。

このたび、さらに多くの地区で「住民同士の支え合い活動」が広がっていくことを願いこの事例集を作成しました。

地域包括ケアシステムの枠組みの中で、「地域安心生活支え合い事業」をきっかけに、住民一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら住み慣れた地域で幸せと生きがいを実感できる「地域共生社会」の実現に向けた一助になれば幸いです。

最後に、この事例集を作成するにあたり、取材にご協力いただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和 2 年 3 月

第 1 層生活支援コーディネーター
社会福祉法人金沢市社会福祉協議会
地域福祉課長 北脇 宜和

目次

◆はじめに…………… 1

◆事例集

<きしかわ圏域>

◇森本地区 三谷おでかけサロン…………… 3

<ふくひさ圏域>

◇小坂地区 非常時を見据えた日頃の見守り関係構築… 5

◇千坂地区 千坂地区社会福祉協議会「おたすけ隊」… 7

<かすが圏域>

◇浅野地区 京町ミニサロン…………… 9

◇浅野地区 錦水シニアクラブ……………11

◇浅野地区 ダイナスティサロン……………13

◇浅野地区 浅野地区支え合い委員の設置……………15

◇夕日寺地区 夕日寺地区各町会ボランティアチーム…17

<おおてまち圏域>

◇此花地区 このはなサロン市……………19

◇瓢箪地区 つなごう瓢箪……………21

◇馬場地区 町会単位の支え合い活動の企画促進……………23

<さくらまち圏域>

◇味噌蔵地区 町会単位の見守り・支え合い体制の充実…25

<たがみ圏域>

◇湯涌地区 買い物支援と生活支援の仕組みづくりの検討…27

◇浅川地区 高齢者アンケートによる支え合い活動の提案…29

<もろえ圏域>

◇諸江地区 ほっとネットもろえ……………31

◇浅野川地区 ゆみとり支え合いネットワーク……………33

◇浅野川地区 蚊爪お助け隊……………35

<くらつき圏域>

◇鞍月地区 鞍月新町福祉サポート隊……………37

◇鞍月地区 くらつきかふえ……………39

◇粟崎地区 ささえ愛隊・粟崎……………41

◇金石地区 みやのこしサポート隊……………43

◇金石地区 お茶会……………45

<えきにしほんまち圏域>

◇大徳地区 地域支援ボランティアすけっと隊……………47

<ひろおか圏域>

◇長町地区 いーねカフェ……………49

◇芳斉地区 芳斉ボランティアの会……………51

◇長田地区 長田てつだい隊……………53

◇西地区 高齢者の見守り活動……………55

<かみあらや圏域>

◇押野地区 ふれ合いカフェ光陽……………57

◇西南部地区 サロンほほえみ……………59

◇西南部地区 いどばたカフェ……………61

◇西南部地区 よるまい会……………63

◇西南部地区 古南サロンよってみっかいネ……………65

◇三和地区 森戸コミュニティカフェ……………67

<きたづか圏域>

◇米丸地区 あんやと会……………69

◇米丸地区 あんやとカフェ……………71

<とびうめ圏域>

◇新竪地区 そくさいカフェこまちなみ……………73

◇新竪地区 買いもんいくまい会……………75

◇小立野地区 見守りキーホルダーと地域行事パンフレット(仮称)づくり…77

<みつくちしんまち圏域>

◇十一屋地区 コミュニティカフェいんぎ楽っと……………79

◇菊川地区 コミュニティカフェてと手とて……………81

◇崎浦地区 崎浦さわやか隊……………83

◇内川地区 内川でづくりサポート隊……………85

<ながさか圏域>

◇泉野地区 すこやかカフェ……………87

<いずみの圏域>

◇中村地区 いこいの広場……………89

◇新神田地区 災害時に備えた日頃の見守り関係……………91

<ありまつ圏域>

◇米泉地区 結ネット……………93

<やましな圏域>

◇富樫地区 見守り・友愛訪問……………95

◇伏見台地区 健康・介護予防教室……………97

<まがえ圏域>

◇四十万地区 町会単位の居場所づくり……………99

※日常生活圏域ごとにまとめています。

森本地区

三谷おでかけサロン

概況

開始時期	令和元年10月	活動場所	三谷校下直江谷地区
------	---------	------	-----------

ボランティア数	17名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	毎月第4日曜日（Aルート）・第3土曜日（Bルート） 時間は共に9:00~12:00		
------	--	--	--

活動対象	三谷校下の住民で外出に不便を抱える高齢者		
------	----------------------	--	--

活動内容	社会福祉法人の送迎車両を用いて、ボランティアの運転による高齢者の移動支援を行う		
------	---	--	--

定例会の有無	随時実施
--------	------

平均利用者数・参加者数	Aルート：約8名 Bルート：約5名
-------------	----------------------

具体的な取り組み

住民ボランティアが運転する車両で、運転免許返納や車を手放した方など外出に不便を感じている高齢者を乗せて、イオン金沢店まで送迎する仕組みです。

車両は希望が丘（障害者支援施設）と三谷の里ときわ苑（救護施設）より提供を受けています。両施設とも社会福祉法人の地域貢献活動の一環として、送迎車両を使用していない土日に車両貸し出しという形で協力していただいています。

活動の様子



【車内のおしゃべりも楽しみの一つです】



【地区内の集合場所までお迎え】



【自分で選んで買うことが楽しみです】



【交流の機会になっています】

<ボランティア・利用者の声>

- ・普段なかなか会う機会がない人とおしゃべりできる良い機会になっています。
- ・帰りは自宅前まで送ってもらえるから、大きい物も買えるので助かっています。
- ・いつも子どもに買ってきてもらうのも気兼ねだから、自分で選べて気が楽です。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

単なる移動支援だけでなく、地区内の交流の機会として機能しています。
また地域の社会福祉法人の地域貢献活動として協力を得られたことが活動の実現に大きく関わっています。

<課題>

運転ボランティアのさらなる確保が課題になっています。

<今後の展望>

森本地区内の他の山間部に活動を広げていけるかどうか、
町会連合会や各種法人と協議を進めていきたいと思ひます。



森本地区社協会長
吉岡 信昭 氏

問い合わせ

森本地区社会福祉協議会 TEL 076-258-1130

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

小坂地区

非常時を見据えた日頃の見守り関係構築

概況

開始時期	平成30年度	活動場所	各町会単位
------	--------	------	-------

ボランティア数	民生委員・町会長等	利用料・参加費	—
---------	-----------	---------	---

活動日時	町会単位で検討中
------	----------

活動対象	災害発生時に避難誘導や声かけが必要と思われる一人暮らし高齢者等
------	---------------------------------

活動内容	各町会で一人暮らし高齢者等に対し、非常時に避難誘導や声かけができるよう日頃からの見守り関係構築を目指します。
------	--

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

平成30年度に民生委員・防災士・町会長が各町会内の一人暮らし高齢者等、避難誘導が必要な対象者を把握・共有しました。この対象者に対して、町会単位で避難誘導に関わることができる協力住民を探し、非常時だけでなく日頃から対象者と見守り関係づくりができるよう地区社協として支援を行います。

令和元年度は地区の防災訓練等で関係者への事業協力を呼び掛けています。

活動の様子



【民生委員・町会長で地図を囲み情報共有】



【校下防災訓練の様子】

<ボランティア・利用者の声>

- ・避難誘導が必要と思われる方でも、身体状況等は様々なので個々のケースごとに調整する必要があるため、調整できるケースから少しずつ進めたいです（民生委員）
- ・町連・地区社協として声かけ等の協力住民を募るためにも、繰り返し防災の重要性を伝えていきたいです（町会長）

課題・今後の展望

<アピールポイント>

町連・自主防災・地区社協・民児協といった関係組織間で防災に対する取組みの重要性が共有できています。

< 課 題 >

各町会単位で対象者と住民の関係づくりを進めるにあたり、協力住民への呼びかけ等町会の活動支援が必要と思っています。

<今後の展望>

各団体の会合等で取組みを進展させるため、事業の必要性や重要性の周知を引き続き行います。



小坂地区社協会長
高野 善一 氏

問い合わせ

小坂地区社会福祉協議会 TEL 076-252-3031

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

千坂地区

千坂地区社会福祉協議会「おたすけ隊」

概況

開始時期	平成 29 年度 (荒屋団地は平成 27 年度)	活動場所	地区全域
------	-----------------------------	------	------

ボランティア数	58 名	利用料・参加費	1 時間 500 円～
---------	------	---------	-------------

活動日時	活動依頼に応じて活動
------	------------

活動対象	地区内の住民どなたでも
------	-------------

活動内容	ちょっとした生活の困りごとを解決する有償型住民福祉サービス。
------	--------------------------------

定例会の有無	年 1 回
--------	-------

平均利用者数・参加者数	活動依頼 令和元年度 約 30 件 (12 月時点)
-------------	-------------------------------

具体的な取り組み

平成 27 年に荒屋団地町会の有志が集まり、樹木の剪定や重たい家具移動など自分達ができる活動で町内の高齢者等のちょっとした困りごとを解決する仕組みを立ち上げました。

平成 29 年度から地域安心生活支え合い事業の取り組みとして発展させることとなり、利用者および協力会員を地区全域を対象として取り組みを広げています。

活動の様子



【依頼者と打合せ】



【1時間500円なので気軽に頼めます】



【協力して剪定しています】

<ボランティア・利用者の声>

- ・専門業者に頼むほどじゃないことだけど、高い木の剪定は自分では難しく、作業してもらえてとても助かりました。(利用者)
- ・ちょっとしたことだけど自分のできることが町会の役に立つことは嬉しいね。(隊員)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

無償だと依頼者が気を遣ってお茶菓子を用意したり等、かえって頼みにくいということで、気軽に頼めるようワンコインからの有償の取組みにしています。

<課題>

協力会員の増員とさらなる活動の周知です。

<今後の展望>

依頼者が常連となってくれたり、近所の住民に口コミしてもらおうなど、活動が定着するよう周知していきたいです。



おたすけ隊隊長
中山 良一 氏

問い合わせ

千坂地区社会福祉協議会 TEL 076-258-4520

作成日 令和元年12月

作成者 水橋 佑介

浅野地区（京町） 京町ミニサロン

概況

開始時期	平成30年5月	活動場所	京町積善会館
------	---------	------	--------

ボランティア数	民生委員・まちぐるみ福祉 活動推進員・支え合い委員 14名	利用料・参加費	100円
---------	-------------------------------------	---------	------

活動日時	毎月第1木曜日 10:00~12:00
------	---------------------

活動対象	京町3町会（京和会・交友会・積善会）在住の高齢者
------	--------------------------

活動内容	歌や体操、手作り教室等参加者全員で相談し企画している
------	----------------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	約12名
-------------	------

具体的な取り組み

児童館で開催されている地域サロンは、京町在住高齢者には距離があるため参加しづらいという声から、町会の集会所で集まる場を開催しました。

凝ったプログラムを企画するよりも、参加者がしてみたいことを尊重し、一緒に散歩する会や要望がある体操や手作り教室等、みんなで作り上げるサロンを意識して、毎月1回開催しています。

活動の様子



【町会長の演奏に合わせて合唱です】



【男性参加者も少なくありません】



身近な会館なので
みなさん集まり
やすいそうです

<ボランティア・利用者の声>

- ・児童館に歩いていくことは難しいけど、会館なら歩いていけるので参加しています。
- ・なるべく参加者の自主性を大事にして、みんなで作るミニサロンにしたい。参加される方も回数を重ねることで徐々にお客さんのような感覚から自分たちでやりたいことを意見するようになってきたと思います。(町会長)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

身近な会館で参加のしやすさを大切にしています。また、男性参加者が4割程度いることも居場所づくりとしての効果があったと思っています。

<課題>

ミニサロンにおけるつながりづくりはできてきたので、日頃の見守り関係づくりを目指したいです。

<今後の展望>

活動の継続と日頃の見守り関係づくりのための方法等について町会長等と協議します。



浅野地区地域福祉支援
コーディネーター
田崎 宏氏

問い合わせ

浅野地区社会福祉協議会 TEL 076-253-0294

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

浅野地区（錦水会）

錦水シニアクラブ

概況

開始時期	平成26年度	活動場所	錦水会館
------	--------	------	------

ボランティア数	支え合い世話人4名	利用料・参加費	無料
---------	-----------	---------	----

活動日時	毎月第2月曜日
------	---------

活動対象	錦水会在住のひとり暮らし高齢者
------	-----------------

活動内容	体操や各種学習会、茶話会等サロン活動をきっかけにとして日頃の支え合い活動を目指す。
------	---

定例会の有無	毎月の集まりを兼ねる
--------	------------

平均利用者数・参加者数	約20名
-------------	------

具体的な取り組み

町内で孤独死が生じたことをきっかけに身近なつながりを持つ機会をつくろうということからサロン活動が始まりました。

町内の語らいの場としてシニアクラブは機能しており、高齢者同士の仲間づくりの成果がでてきています。

シニアクラブで仲良くなり、日頃の支え合い・見守り関係に活かせる町内の情報共有も進んできています。

活動の様子



【高砂一座をお招きして楽しみました】



【ぬり絵体験も人気プログラムです】



【防火のお話等生活に関する勉強会も開催】



【血圧チェックなども実施しています】

<ボランティア・利用者の声>

- ・ご近所づきあいのために集まり始めたけど、色々と楽しいプログラムのおかげで、楽しく集まれる素敵な場になっています。
- ・シニアクラブを始めたことで、ちょっとした困り事や悩みも日頃から話せる関係づくりが進んだように感じています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

小さい町会の取組みですが、サロン活動から日頃の見守り・支え合いの関係づくりが生まれてきています。

< 課 題 >

関係づくりは進んでいますが、その中でも例えば重たい家具移動などの解決には町内だけでは対応が難しいと感じています。

<今後の展望>

浅野地区全体で生活上の困り事解決の仕組みが作れるよう、困り事の把握などに協力していきたいです。



元民生委員
上野 健三 氏

問い合わせ

浅野地区社会福祉協議会 TEL 076-253-0294

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

浅野地区（昌永町） ダイナスティサロン

概況

開始時期	平成 29 年 1 月	活動場所	信開ダイナスティ浅野本町 トレーニングルーム
------	-------------	------	---------------------------

ボランティア数	世話人・民生委員 各一名	利用料・参加費	無料
---------	-----------------	---------	----

活動日時	月 1 回（不定期）
------	------------

活動対象	マンション住民
------	---------

活動内容	体操を中心とした運動のつどい
------	----------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	約 10 名
-------------	--------

具体的な取り組み

マンション住民の間で高齢化が意識されるようになったことに伴い、住民同士の交流・運動の機会を設けようという声から、月 1 回の頻度でマンション内のトレーニングルームで体操を中心とした集まりを開催しています。

地域包括支援センターかすがも体操講師の人選等に協力しています。昌永町担当民生委員も協力し、マンション内の交流の場として定着しています。

活動の様子



【手軽にできる体操にチャレンジ】



【みんなで仲良く運動しています】



住民同士の交流の機会
として役立っています

<ボランティア・利用者の声>

- ・みんなで運動すると楽しいし、また次回も参加しようかなという気持ちになるわ。
- ・普段顔を合わせない方ともお話できる良い機会になってます。
- ・マンション在住でもやっぱり人と関わりたい気持ちはあるからこういう場は大切ね。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

難しい決まり事や取り決めは特にせず、気軽につながっていける場として運営しています。

<課題>

参加者をもう少し増やせるといいなと思っています。

<今後の展望>

昌永町としてはこの取組みの他に空き家を改装した「ゆるり」という場があります。「ゆるり」のさらなる活用も検討したいと思っています。



浅野地区民生委員
福光 省三 氏

問い合わせ

浅野地区社会福祉協議会 TEL 076-253-0294

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

浅野地区

浅野地区支え合い委員の設置

概況

開始時期	平成29年度	活動場所	各町会
ボランティア数	支え合い委員19名	利用料・参加費	—
活動日時	町会毎に随時		
活動対象	町内の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等		
活動内容	町会単位で支え合いの仕組みづくりについて検討し実施		
定例会の有無	年2回程度		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

町会毎に世帯構成や実情が異なることから、「支え合い支援員」（町会長や班長等）を配置し、各町会で必要とされる取組みを検討の上、展開しています。

コミュニティカフェの立上げや、見守り関係の再検討、既存の町会の取組みへの参加者の呼びかけの見直し、町会組織の改編による高齢者への役割の付与等、町会毎に様々な活動を企画・実施しています。

活動の様子



【支え合い委員・町会長の会議】



【各町会の取組みを実践発表し共有】



【地域福祉支援コーディネーターが配置されました】



<ボランティア・利用者の声>

- ・町会主体でラジオ体操を毎日続けることで高齢者の居場所づくりになっています。
- ・災害時を見据えた見守り関係を町会で見直した。実際に避難訓練時に避難の声かけ練習も実行できたのでネットワークが少しずつ定着しつつあります。
- ・コミュニティカフェで地域サロンに参加していない方の居場所づくりができました。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

支え合い事業を通じて各町会内で何が必要とされるのか、担い手としてどなたが活動できるのか等話し合いが進む良い機会となっています。

<課題>

各町会のペースで順次進めているので、取り組みのスピードに差が生じている。適宜各町会を支援する必要があります。

<今後の展望>

令和元年度より地域福祉支援コーディネーターが配置され、各町会へのより細かな支援を実施していきたい。



浅野地区地域福祉支援
コーディネーター
田崎 宏 氏

問い合わせ

浅野地区社会福祉協議会 TEL 076-253-0294

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

夕日寺地区

夕日寺地区各町会ボランティアチーム

概況

開始時期	平成29年度	活動場所	各町会
------	--------	------	-----

ボランティア数	46名（町会長・民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員）	利用料・参加費	無料
---------	----------------------------	---------	----

活動日時	各チーム単位で活動
------	-----------

活動対象	町会内で気になる高齢者
------	-------------

活動内容	チーム単位で気になる方の個別見守りやサロン活動と連携して見守りを展開している
------	--

定例会の有無	年2回程度
--------	-------

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

町会毎に民生委員を班長、町会長・まちぐるみ福祉活動推進員をメンバーにしたボランティアチームを組織しました。

チームごとに町会内の気になる方について情報を共有し、見守り活動の進め方を協議のうえ、実践している。地域サロンを安否確認の機会としたり、畑仕事をしている場に顔を出すなど町会毎の特徴に合わせた見守りを行っています。

活動の様子



【地域サロンの場が見守りの機会】



【自宅訪問で見守りを実施】

<ボランティア・利用者の声>

- ・以前からある町会内の交流を活かして見守りしているので、見守り活動と言っても特別なことをしている感覚はありません。自然と取組めていることが良いと思います。
- ・畑作業をしているところに声をかけあうことは昔からのお付き合いとしてやってきました。この声かけは見守り活動の一環ですが、それ以前にご近所付き合いなので、特別に構えることなくお付き合いを続けて見守っていきます。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

各町会単位で関係者がまとまって見守り活動について話し合ったり、実践をしています。

< 課 題 >

見守り活動の協力者を増やすことです。各町会で色々な方が関わるよう働きかけを考えたいと思います。

<今後の展望>

定期的に情報共有する機会を設けて、取組みの発展を考えていきたいと思います。



夕日寺地区社協会長
山根 久美子 氏

問い合わせ

夕日寺地区社会福祉協議会 TEL 076-252-3642

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

此花地区 このはなサロン市

概況

開始時期	令和元年10月	活動場所	此花会館 集会室
ボランティア数	5名	利用料・参加費	商品実費
活動日時	毎月1回金曜日サロン終了後（来年度より月2回開催予定）		
活動対象	このはなサロン参加者		
活動内容	買い物支援（野菜・果物の販売）		
定例会の有無	有（販売商品の打合せ）		
平均利用者数・参加者数	25名程		

具体的な取り組み

此花地区では、商店の減少等によって買い物をするところが減ってしまいました。そこで、事業の中で買い物支援ができればと思ったのですが、それだけではもったいない…。なにか秘策はないかということで、地域サロン参加者が固定化しているという課題に目をつけ、このはなサロン×買い物支援＝このはなサロン市を行うことにしました。地域サロンに足を運ぶことで外出のきっかけとなり、来たついでにお買い物。地域サロン参加者の増加も見込んでいます。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

・サロンに来たついでにお買い物できるなんて嬉しいです。ひとりではなく、お友だちと買い物をすることで交換したり分け合ったりして会話もはずむし、これからの楽しみが増えました。楽しくてつい買いすぎてしまいます。(参加者)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

このはなサロン・このはなサロン市に参加すれば…おかすが一品増えます！

< 課 題 >

自主財源確保について対策を考えています。とりあえず現段階では、品数を増やさず身の丈に合った運営を心掛けていきます。

<今後の展望>

～継続は力なり～

みなさんのご意見を伺いながら、まずは5年間の継続を目指します。明るい此花、住みよい此花に少しでも役立つように頑張ります！



此花地区社協
福島会長、荒井事務員

問い合わせ

此花地区社会福祉協議会 TEL 076-221-0938

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

瓢箪地区 つなごう瓢箪

概況

開始時期	平成31年4月	活動場所	瓢箪地区全域
ボランティア数	ボランティア 30名 まちぐるみ 46名	利用料・参加費	無料
活動日時	随時、依頼があったとき		
活動対象	瓢箪地区にお住まいのおおむね75歳以上の方		
活動内容	話し相手、声掛け・見守り、困りごとのお手伝い等		
定例会の有無	不定期開催		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

従来から民生委員を中心にまちぐるみ福祉活動推進員、ボランティアのつながりが深く、助け合いの精神が根づいた地域です。近所の「気になる人」を何気なく見守っていた人が、民生委員や地区社協に相談をし、支援につながってきたケースがいくつもあります。そこで「気になる人」の見守り・サポートをしている人へボランティアの参加を呼びかけ、ご近所づきあいの中で行われていた見守り支援活動をもとに体制づくり・仕組みづくりをすすめてきました。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・ひとりでこもっているとネガティブなことばかり考えてしまうけど、少しでも誰かと話すことでスッキリ。声を掛けてもらおうと嬉しいし、ホッとします。(参加者 M さん)
- ・定期的な声掛けが困りごとの発見につながっています。こちらから行くばかりでなく、家に来てもらうことも楽しみのひとつになっています。(ボランティア K さん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

小さな支え合いの積み重ねがちょっとした変化の気づきとなり、迅速な対応につながっています。また、複合的な課題については専門職を交えてチームで検討することで、必要な支援や専門的なケアに結び付けています。

< 課 題 >

小さな支え合い関係を次世代にどう引き継いでいくか、若い世代を中心とした新たな担い手の育成をどうすすめていくかが今後の課題です。

<今後の展望>

地元の子どもたちと高齢者が交流する機会を増やして、さらにつながりの輪を広げていきたいです。



瓢箪地区民児協 松島会長

問い合わせ

瓢箪地区社会福祉協議会 TEL 076-221-1476

作成日 令和元年 12 月

作成者 村澤 成美

馬場地区

町会単位の支え合い活動の企画促進

概況

開始時期	令和元年度	活動場所	各町会
------	-------	------	-----

ボランティア数	町会長・民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員	利用料・参加費	—
---------	-----------------------	---------	---

活動日時	町会毎に検討
------	--------

活動対象	主に一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯（町会内で検討する）
------	------------------------------

活動内容	町会単位で支え合いの仕組みづくりを企画・実施できるよう、町会長やまちぐるみ福祉活動推進員による協議を促進
------	--

定例会の有無	年1回
--------	-----

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

馬場地区として事業の進め方を検討するため、各種団体から実務者を委員として推薦いただき、作業部会を設けアンケート調査やその結果の分析について協議をしました。

各町会の高齢者の生活実態の傾向をつかむため、各町会長にアンケート調査を依頼しました。アンケート結果を踏まえ、町会長・まちぐるみ福祉活動推進員に町会単位で支え合いの仕組みづくりに取り組んでもらいたい旨を説明しました。

活動の様子



【事業についての説明会の様子】

町会長・まちぐるみ福祉活動推進員が自分達でできそうな支え合い活動について話し合いました。



【説明会の発表の様子】

できる可能性がある取り組みの方向性や現在すでに活動している取り組みを発表しました。

<ボランティア・利用者の声>

- ・校下全体よりもそれぞれの顔が見える町会単位で取り組みを考えたほうが活動を起こしやすいと思った。
- ・町会単位で考えると民泊施設や空き家など、人が集まる場として活用できる場所が町会内に点在している。人が集まる機会を作り出すためにも場所の活用を考えたい。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

作業部会に町会長・公民館委員・老人会・民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員から委員を選出したことで具体的な取り組み例を提案できました。

<課題>

町会によって人口構成や会場等の資源に差があるので、取り組みできるところから話し合いを進めていきたいです。

<今後の展望>

町会単位で支え合い活動の具体化を進め、各種助成金を活用し、資金的なサポートも検討します。



馬場校下社協会長
河合 康子 氏

問い合わせ

馬場校下社会福祉協議会 TEL 076-252-3959

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

味噌蔵地区

町会単位の見守り・支え合い体制の充実

概況

開始時期	平成29年度	活動場所	各町会
ボランティア数	民生委員・まちぐるみ 福祉活動推進員・町会長等	利用料・参加費	—
活動日時	町会毎に随時		
活動対象	町内の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等		
活動内容	町会単位で見守り・支え合い体制の充実のため見直しを図る		
定例会の有無	—		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

支え合い事業を進めるにあたり、民生委員が把握している高齢者に生活実態や支え合い活動に望むことを伺うアンケート調査を実施しました。

調査結果を踏まえ、地区全体にかかる活動を企画するのではなく、町会単位での見守り・支え合い体制の充実を目標とし、現在の町内の各種支え合い活動の把握から取組みます。既にある町会活動や善隣館活動等を活用しつつ、町会単位で不足している取組みの開発を目指します。

活動の様子



【町会単位活動：常福寺朝市】



【町会単位活動：天神緑地サロン】



【町会単位活動：サロン喫茶】



【町会単位活動：天親カフェ】

<ボランティア・利用者の声>

- ・朝市の取組みは買い物ついでに町内の人とおしゃべりできる場にもなって楽しい。
- ・サロン喫茶はホテルの喫茶店で開かれているから開放的で参加しやすいです。
- ・身近な町会で集まることで、普段から気かけあう良いきっかけになっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

現時点で地区内の各所で様々な活動が既に取り組みられています。各取組みによって周辺住民を中心に、住民同士の交流が生まれています。

< 課 題 >

地区内には定期的なつどいの場が立ち上がっていない町会・エリアもあり、実現に向けた場の確保が課題です。

<今後の展望>

つどいの場の立上げを基本としつつ、必要とされる支え合いの仕組みづくりをさらに検討していきます。



味噌蔵地区社協会長
中山 稔 氏

問い合わせ

味噌蔵地区社会福祉協議会 TEL 076-221-0962

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

湯涌地区

買い物支援と生活支援の仕組みづくりの検討

概況

開始時期	令和元年度	活動場所	検討中
------	-------	------	-----

ボランティア数	—	利用料・参加費	—
---------	---	---------	---

活動日時	今後検討する
------	--------

活動対象	町会・集落単位で一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に聞き取り調査
------	---------------------------------

活動内容	①移動スーパー誘致による買い物・交流の場づくり ②ちょっとした困り事に対応する生活支援の仕組みづくり
------	---

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

まちぐるみ福祉活動推進員が町会・集落単位の高齢者意向調査を行います。
意向調査のうえで、各種団体と活動の方向性について協議する予定です。

- ①移動スーパー誘致についてはそういった場を求める声について感触を掴み、具体化にあたっては連合町会等と協議する見込みです。
- ②生活支援の仕組みづくりは、元気高齢者の活躍の場づくりを企画したいです。

活動の様子



【まちぐるみ福祉活動推進員への説明会】

高齢者への意向調査はまちぐるみ福祉活動推進員に依頼し、調査を実施する。サロン等高齢者が集まる機会で見聞きを進めます。



【聞き取り調査の様子】

サロンで移動スーパーの必要性やちょっとしたお手伝いとしてこういった内容があると助かるか等について聞き取りを行います。

＜ボランティア・利用者の声＞

- ・町会や集落単位で生活しているので、その単位で人が集まる場があると嬉しいです。
- ・生活支援の仕組みづくりについては、単に困り事解決だけでなく、元気高齢者が活躍できる機会も兼ねた仕組みを考えたいと思います。

課題・今後の展望

＜アピールポイント＞

聞き取り調査を個別訪問で行うのではなく、サロンや井戸端会議の場等を行うことで、高齢者のみなさんに自分たちの生活を考えてもらう良い機会にしたいと思います。

＜課題＞

活動の必要性把握と各種団体との協議を丁寧に行う必要があります。

＜今後の展望＞

令和元年度中に意向調査と事業の方向性の協議を進め、本格的な活動の実施は令和2年度を予定。



湯涌地区社協会長
中田 久志 氏

問い合わせ

湯涌地区社会福祉協議会 TEL 076-235-1852

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

浅川地区

高齢者アンケートによる支え合い活動の提案

概況

開始時期	平成29年度	活動場所	町会単位
------	--------	------	------

ボランティア数	—	利用料・参加費	—
---------	---	---------	---

活動日時	—
------	---

活動対象	各町会在住の高齢者（アンケート対象者）
------	---------------------

活動内容	町会単位でアンケート調査を企画し、生活実態や困り事の傾向を調査実施。調査結果を踏まえ町会に仕組みづくりを提案。
------	---

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

アンケート調査によって町会単位の支え合いの仕組みづくりを地区社協から町会に提案する形で事業を展開しています。

浅川地区は複数の小学校下を含んでいるため、校下全体でひとつの事業を実施するより、各町会単位で取り組みを広げる方向性としています。アンケートの企画・調査・結果の振り返りまでをワンセットとして、調査によって支え合いの仕組みを検討したい町会に対し、地区社協として関わっています。

活動の様子



【アンケート結果振り返りの会議】

町会長や民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員とアンケート結果の共有とそれを踏まえた支え合いの仕組みづくりについての協議を実施。

同上2丁目

高齢者の生活や要望についての調査

★このアンケートを書かれたのはどなたですか。
①本人 ②家族が本人に代わって ③その他〔 〕
★年齢〔 〕歳（10月末現在）
★性別〔男性・女性〕

以下、あてはまるものがあれば、全部に○をつけてください。

- 1 あなた自身のことについて教えてください。
- (1) 同居している人はいですか。
① 妻や夫 ② 親 ③ 子ども ④ 孫 ⑤ その他〔 〕
⑥ 同居している人はいない
- (2) 生きがいや楽しみはありますか。あるとすれば何ですか。
① ある (ア)趣味・習い事 (イ)運動 (ウ)仕事 (エ)園芸・野菜作り
(オ)ボランティア (カ)家族 (キ)友人とのお付き合い
(ク)その他〔 〕
② 特になし
- (3) 外出はしますか。
① ほぼ毎日 ②週に3～4日 ③週に1～2日
④ あまり出かけない
- (4) 外出する時は、主にどうやって出かけますか。
① 歩いて ② 自転車 ③ 自分で車やバイクを運転して ④ バス
⑤ タクシー ⑥ 家族が運転する車 ⑦ その他〔 〕

【アンケートの例】

生活上の困り事や外出頻度、地域での支え合いの仕組みに求めるものなどについて伺う様式を作成。

＜ボランティア・利用者の声＞

- ・アンケートを通じて町会の高齢者の声を拾うことができました。（町会長）
- ・高齢者の集まりや交流は何となく把握しているつもりだったがあらためてそうした仕掛けが必要なんだと再確認できました。（民生委員）
- ・町会で話し合うきっかけづくりにアンケートを活用いただきたいです。（地区社協）

課題・今後の展望

＜アピールポイント＞

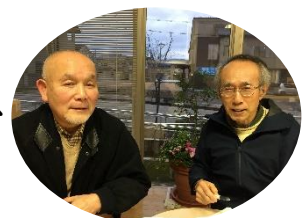
町会単位の支え合い活動を検討するにあたり、アンケート調査を通じ実態や傾向を把握する活動支援をしています。

＜課題＞

各町会単位で実際の支え合い活動を企画・展開するにあたり、地区社協としての支援メニューの検討が必要と考えています。

＜今後の展望＞

各校下連合町会等と相談の上、順次各町会に対しアンケートの企画・実施に取り組んでいます。



支え合い事業実行委員
中島隆一氏・澤野等氏

問い合わせ

浅川地区社会福祉協議会 TEL 076-222-4422

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

諸江地区

ほっとネットもろえ

概況

開始時期	平成28年4月	活動場所	諸江地区
ボランティア数	32名	利用料・参加費	無料
活動日時	随時		
活動対象	諸江地区に在住する方		
活動内容	地域のネットワーク作りと見守り活動		
定例会の有無	無 ※ボランティアの打合せは随時開催		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

東日本大震災をきっかけに、平成22年7月から隣同士が仲良く挨拶を行う「向こう三軒両隣運動」をスタートさせました。

平成28年4月よりこの「向こう三軒両隣運動」と「地域見守り活動」を推進する地域安心生活支え合い事業「ほっとネットもろえ」に取り組んでいます。

活動の様子



【ボランティアによるぼたもち作り】



【町会と連携した防災・福祉マップ作り】



【ふれあい便・長寿お祝い品お届け】

<ボランティア・利用者の声>

・ボランティアを楽しみながら行っています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

今後、設置予定の「地区ボランティアセンター（仮）」とも連携しながら活動を進めていきたいと思ひます。

<今後の展望>

「ほっとネットもろえ」を始めるにあたり、住民ニーズを把握するために実施した「住民アンケート」を参考にしながらこれからの活動を考えていきたいと思ひます。



諸江地区社協会長
森田 郁代 氏

問い合わせ

諸江地区社会福祉協議会 TEL 076-263-1687

作成日 令和2年1月

作成者 上田 浩貴

浅野川地区 ゆみとり支え合いネットワーク

概況

開始時期	平成29年10月	活動場所	弓取町
------	----------	------	-----

ボランティア数	11名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	弓取町に在住する高齢者等
------	--------------

活動内容	見守り、買物支援、通院支援、ゴミ出しなど
------	----------------------

定例会の有無	有（毎月第2火曜日）
--------	------------

平均利用者数・参加者数	16名
-------------	-----

具体的な取り組み

「日常的に見守りが必要な方」や「定期訪問などの支援が必要な方」に対して、ボランティアや民生委員等で構成されるメンバーが近所の方と協力して、見守りや困りごとの解決を行います。

メンバーが活動を通じて把握したニーズ等は、定例会で対応を協議します。

活動の様子



【定例会での情報共有】



【移動販売時の見守り活動】

<ボランティア・利用者の声>

- ・利用者から「また、来てくれたんか!」という声を聞くと、うれしくなります。
- ・向こう三軒両隣、ちょっとしたボランティア活動なので、無理なく活動しています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

個人のプライバシーを守りながら、ご近所同士のネットワークをつくることを心掛けています。

< 課 題 >

買い物支援や通院支援などの要望も多いが、定期的な支援となると負担も大きくなります。関係機関・団体とも連携しながら支援できればと思います。

<今後の展望>

この活動を、困りごとの解決だけでなく、住民同士の親睦を深める一つのきっかけにもしていきたいです。



浅野川地区社協会長

日向 博人 氏

問い合わせ

浅野川地区社会福祉協議会 TEL 076-254-5425

作成日 令和2年2月

作成者 上田 浩貴

浅野川地区 蚊爪お助け隊

概況

開始時期	令和元年5月	活動場所	蚊爪町会
------	--------	------	------

ボランティア数	22名	利用料・参加費	有料
---------	-----	---------	----

活動日時	平日 18:00 以降および休祝日
------	-------------------

活動対象	蚊爪町会に在住する70歳以上の高齢者世帯
------	----------------------

活動内容	不燃物や新聞等のゴミ出し、電球等の交換、敷地内歩道の雪かき ※有料回収ゴミの搬出、家具移動、道路除雪、敷地内機械草刈り・除草剤散布等は有料
------	--

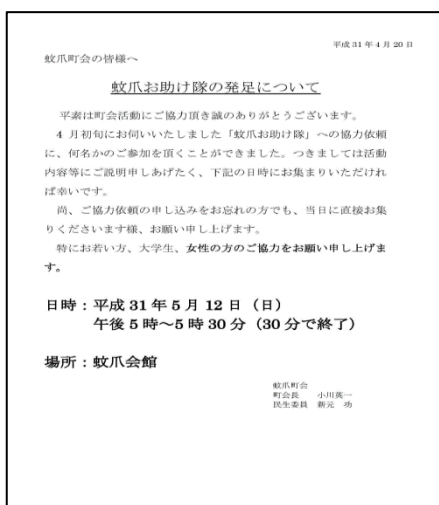
定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	5名
-------------	----

具体的な取り組み

依頼は、担当民生委員またはまちぐるみ福祉活動推進員に申し込みます。
その後、事務局が見積もりに行き、料金を依頼者と確認し活動日を決定しています。

活動の様子



【隊員募集チラシ】



【草むしりでスッキリ】

<ボランティア・利用者の声>

- ・「ありがとう！また次も頼むね！」との声を聞くと、やってよかったと思います。
- ・活動をきっかけに、住民のみなさんとのつながりが深まりました。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

有償とすることで、住民のみなさんが遠慮をせず、気軽に頼めるようになったのではと感じています。

料金は、ボランティア活動保険の掛け金と地域サロンの費用などに当てています。

< 課 題 >

子どもたちに参加してもらうなど、新しい担い手を確保していきたいと思います。



浅野川地区民児協会会長
新元 功 氏

問い合わせ

浅野川地区社会福祉協議会 TEL 076-238-3680

作成日 令和2年2月

作成者 上田 浩貴

鞍月地区

鞍月新町福祉サポート隊

概況

開始時期	平成30年7月	活動場所	鞍月新町町会
------	---------	------	--------

ボランティア数	12名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	鞍月新町町会に在住する高齢者等
------	-----------------

活動内容	話し相手、ゴミ出し、電球交換など
------	------------------

定例会の有無	有（偶数月）
--------	--------

平均利用者数・参加者数	9名
-------------	----

具体的な取り組み

なるべく対象者宅の近隣の隊員をマッチングし、2人以上で担当するようにしています。

また、対応できそうな内容であれば、その場で対応するようにしています。

活動の様子



【2ヶ月に1回、定例会で情報共有】



【隊員のみなさん】

<ボランティア・利用者の声>

- ・ご近所同士の支え合いなので、ボランティアをしているという意識はなく、自然体で活動しています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

あまり無理をせず、向こう三軒隣組の感覚で行っています。

< 課 題 >

今後は、買い物（移動）支援も必要になると考えられるので活動内容を検討していきたいと思います。

<今後の展望>

若い人にも協力してもらうために、活動内容を広くみなさんに伝えていきたいと思います。



鞍月地区社協会長
南野 宏一 氏

問い合わせ

鞍月地区社会福祉協議会 TEL 090-4328-1200

作成日 令和元年 12月

作成者 上田 浩貴

鞍月地区 くらつきかふえ

概況

開始時期	令和元年6月	活動場所	シェアマインド金沢
ボランティア数	9名	利用料・参加費	ランチ 500円 コーヒー 200円
活動日時	毎月第2・4金曜日 11:00~13:30		
活動対象	どなたでも		
活動内容	コミュニティカフェ		
定例会の有無	有（第2・4水曜日）		
平均利用者数・参加者数	20名		

具体的な取り組み

「人が集まり、共に過ごし、つながりをつくっていく場」を目指し、ボランティア9名で立ち上げました。

地元野菜を使ったランチやコーヒーを提供し、おしゃべりを楽しみながら自由な時間をゆっくりと過ごしてもらえるサロンにしていきたいと考えています。

活動の様子



【どなたでもお越しください】



【大人気の手作りランチ】

<ボランティア・利用者の声>

- ・顔なじみの方がいるので、気軽に来ることができます。
- ・スタッフとして関わることで、ボランティア活動の楽しさが分かりました。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

特にプログラムやイベントは設けずに、みなさんには自由におしゃべりや交流を楽しんでもらいます。

< 課 題 >

地域のいろいろな人にお手伝いしてもらいたいです。
また、鞍月地区内でカフェを広げていきたいと思えます。

<今後の展望>

だれでも気軽に立ち寄れる雰囲気が続けていきたいです。
また、ミニ講座等なども企画していきたいです。



鞍月地区社協会長
南野 宏一 氏

問い合わせ

鞍月地区社会福祉協議会 TEL 090-4328-1200

作成日 令和元年 12月

作成者 上田 浩貴

栗崎地区

ささえ愛隊・栗崎

概況

開始時期	平成31年3月	活動場所	栗崎地区
------	---------	------	------

ボランティア数	34名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	栗崎地区在住の高齢者等
------	-------------

活動内容	ゴミ出し（週1回）、話し相手、玄関先の除雪
------	-----------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	34名
-------------	-----

具体的な取り組み

平成30年6月、65歳以上のひとり暮らしの方・高齢者世帯を対象に、ニーズ調査を実施したところ、「ゴミ出し・話し相手・玄関先の除雪」という意見が多く上がりました。この結果を踏まえ、活動内容を決定しました。

なるべく対象者とボランティアが同じ町内になるようにマッチングしています。

活動の様子



【民生委員と情報共有】



【発足式の様子】

<ボランティア・利用者の声>

- ・「ありがとう!」「助かるわ!」など、心の交流があるのでやりがいになります。
- ・「話し相手」として訪問すると、とても喜ばれます。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

民生委員とも情報共有しながら活動を行っています。

< 課 題 >

若い方にも参加してもらえるように活動していきたいと
思います。

<今後の展望>

今後は、定例会を開催し、みなさんの意見を取り入れ
ながら活動内容を考えていきたいと
思います。



粟崎地区社協会長
西尾 和喜雄 氏

問い合わせ

粟崎地区社会福祉協議会 TEL 076-238-3072

作成日 令和元年 12月

作成者 上田 浩貴

金石地区

みやのこしサポート隊

概況

開始時期	令和元年11月	活動場所	金石地区
------	---------	------	------

ボランティア数	民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員・ボランティア	利用料・参加費	無料
---------	--------------------------	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	金石地区に在住する高齢者や障害のある方等
------	----------------------

活動内容	話し相手、ゴミ出し、声掛けなど
------	-----------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

令和元年5月に、75歳以上の高齢者を対象にしたニーズ調査をもとに活動内容を検討したところ、当初は「話し相手・ゴミ出し・声掛け」の3つからスタートすることになりました。

現在は、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員のみなさんを中心に、活動を行っています。

活動の様子



高齢者世帯 孤立防止

金石でサポート隊発足

金石地区で18日、地区の高齢者世帯を支援する住民ボランティア「みやのこしサポート隊」が発足した。金石地区社会福祉協議会などが地域住民に呼び掛けた。高齢者の困りごとを助け、地域ぐるみで孤立防止を図る。

同協議会によると、金石地区のお年寄りを支援するため集まった住民。金石会館

町校下の高齢化率は昨年4月時点で34%となり、市の平均値を上回っている。同協議会が今春、高齢者を対象に行ったアンケートでは「み出しに苦労している」「話し相手がほしい」などの意見が多く寄せられた。こうした高齢者を支援するため、住民ボランティアが1人暮らしの高齢者世帯を訪ね、み出しを手伝い、話し相手をする。高齢者から要望を受けて民生委員がボランティアを紹介する。金石会館で行われた発会式では、ボランティア9人のほか民生委員、町ぐるみ福祉活動推進員など約60人が出席した。同協議会の輪崎健司会長は「活動を通じて支え合いの輪を広げ、安心して暮らせる地域にした

【サポート隊発足式の新聞記事】

令和元年7月吉日

金石の「ちから」を募集します!

金石地区にお住いの皆様へ

金石地区社会福祉協議会
金石地区民生委員児童委員協議会
金石会館
長輪崎健司
校長
校下町
町会
連合会

～つながり続ける石社のまちづくりにあなたも参加してみませんか～

金石地区地域安心生活支え合い事業

高齢者や障害のある方々に対し、日常のちょっとした困りごと（ゴミ出し・声掛け・話し相手）をお手伝いし、住民相互のコミュニケーションを深め、地域の活気づきを目的に**ボランティア**を募集します。

- ▶年齢や性別は問いません。（中学生も可）
- ▶安心して活動していただくために、ボランティア活動保険に加入します。（金石地区社会福祉協議会で保険料を負担します）
- ▶関心のある方は、下記応募用紙にご記入下さい。後日、説明会のご案内をいたします。なお、随時、申し込みを受け付けています。【問合せ：金石地区社会福祉協議会 ☎267-2774】

金石地区「地域安心生活支え合い事業」ボランティア応募用紙

お名前(年齢)	住所	電話番号	登録する事業団体に 〇も併せて下さい		
			ゴミ出し	声掛け	話し相手
()					
()					
()					
()					

各町会長様へお願い
担当民生委員児童委員が8月30日(金)に同校にお伺いしますので、それまでに取りまとめの程、宜しくお願い致します。

登録により取得した個人情報をボランティア活動に関する以外に使用しません。また、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。

【サポート隊 隊員募集チラシ】

課題・今後の展望

< 課題 >

広報活動にも力を入れ、活動を活性化させていきたいと思ひます。

また、活動者が高齢化していることもあり、若い方にも参加してもらえらるようになしていきたいです。

< 今後の展望 >

今後は、住民のみなさんの意見や希望を参考にしながら、活動内容をみんなで考えていきたいと思ひます。



金石地区社協会長
輪崎 健司 氏

問い合わせ

金石地区社会福祉協議会 TEL 076-267-2774

作成日 令和2年1月

作成者 上田 浩貴

金石地区 お茶会

概況

開始時期	令和元年9月	活動場所	金石下相生町集会所 ひまわり
------	--------	------	-------------------

ボランティア数	5名	利用料・参加費	無料
---------	----	---------	----

活動日時	毎月第4金曜日 14:00~16:00
------	---------------------

活動対象	金石地区3町会（上・下相生町、相生町）在住の方
------	-------------------------

活動内容	コミュニティカフェ
------	-----------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	5~6名
-------------	------

具体的な取り組み

令和元年5月、75歳以上の高齢者を対象にしたニーズ調査を実施したところ住民のみなさんが気軽に集える交流の場を要望する声があったことから、「コミュニティカフェ」を始めることになりました。

特にプログラムを設けず、お茶を飲みながら「おしゃべり」を楽しむカフェとなっています。

活動の様子



【集会所ひまわり】



【自由におしゃべりなどを楽しんでいます】

<ボランティア・利用者の声>

- 気軽に参加できて、とても楽しいです。
- 顔なじみの人が増えました。よかったです！

課題・今後の展望

<アピールポイント>

お茶やお菓子を食べながら、自由におしゃべりを楽しむ雰囲気で行っています。

< 課 題 >

他の町会にも気軽に集まれる場を広げていきたいと思ひます。

<今後の展望>

みなさんの意見も取り入れながら、カフェの時間を充実させていきたいと思ひます。



金石地区社協会長
輪崎 健司 氏

問い合わせ

金石地区社会福祉協議会 TEL 076-267-2774

作成日 令和2年1月

作成者 上田 浩貴

大徳地区

地域支援ボランティアすけっと隊

概況

開始時期	令和元年11月	活動場所	大徳地区
------	---------	------	------

ボランティア数	7名	利用料・参加費	無料
---------	----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	大徳地区に在住する70歳以上でひとり暮らし世帯、高齢者夫婦世帯、高齢者のみの世帯、障害者世帯等
------	---

活動内容	ゴミ出し、雪かき、安否確認
------	---------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	7名
-------------	----

具体的な取り組み

対象者とボランティアは、事前に登録が必要です。

大徳地区社会福祉協議会で受付後、なるべく対象者宅の近隣のボランティアをマッチングしています。

活動の様子

平成30年12月

地域支援ボランティアすけっと隊 募集!

大徳地区にお住いの皆様へ



大徳地区社会福祉協議会
会長 桑沢 義昭
大徳地区民生委員児童委員協議会
会長 沖田 照男
大徳地区連合町会
会長 高橋 菊丸

～つながり続ける福祉のまちづくりにあなたも参加してみませんか～
大徳地区地域安心生活支え合い事業

高齢者や障害のある方々に対し、日常のちょっとした困りごとをお手伝いし、住民相互のコミュニケーションを深め、地域の活力づくりを目的に『地域支援ボランティアすけっと隊』を発足します。

- 地域のために役立ちたい!と思っている方
- 年齢や性別は問いません。大徳地区在住の皆さんの参加をお待ちしています。
- 関心のある方は、応募用紙にご記入のうえ、2月15日(金)までに下記提出先までご提出ください。後日、説明会のご案内をいたします。

キリトリ線

大徳地区『地域支援ボランティアすけっと隊』応募用紙

お名前	住所	電話番号	年齢	備考

登録により取得した個人情報をボランティア活動に用いること以外に使用しません。また、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。

提出先
お住いの町会班長さん、または、
大徳地区社会福祉協議会事務局
☎268-5611 大徳公民館内



【ボランティアのみなさん】

【すけっと隊 隊員募集チラシ】

課題・今後の展望

< 課題 >

積極的なPRを行いながら、活動を活性化させていきたいと思ひます。

< 今後の展望 >

若い方が参加してもらえるように、PRなどを充実させていきたいと思ひます。



大徳地区社協会長
桑沢 義昭 氏

問い合わせ

大徳地区社会福祉協議会 TEL 076-268-5611

作成日 令和元年 12月

作成者 上田 浩貴

長町地区 いーねカフェ

概況

開始時期	平成29年4月	活動場所	長町公民館
------	---------	------	-------

ボランティア数	3名程	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	奇数月第2木曜 13:30~15:30
------	---------------------

活動対象	長町地区にお住いの65歳以上の方
------	------------------

活動内容	茶話会、歌、ゲーム等 + 季節に合った企画
------	-----------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	20~25名
-------------	--------

具体的な取り組み

近隣の内科医による研修会（介護予防等に関する内容）をきっかけに、地区とすることができることから始めてみたいという思いから、このカフェを立ち上げました。おしゃべりをしたりお茶をしたり、ゲーム等を楽しんだり…参加者が自由に過ごせることがこの特徴です。また、公民館が地区の真ん中に位置しているため、どのエリアにお住まいの方も参加しやすくなっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・お手伝いの当番は特に決めず、参加者同士でお世話し合っ、自分たちでカフェづくりをしています。1月はその年の初回なので企画を考えますが、基本は百人一首やトランプ、折り紙等を用意して、自由に遊ぶ時間を楽しんでいます。“何もしない”がコンセプト。「気を張らずに過ごせるわ(^)」と喜ばれています。(ボランティアKさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

誰でも参加しやすいように、参加費は無料、会場は公民館としました。また、歌が好きな人が多く、毎回カフェの最後にみんなで何曲か合唱しています。参加者からはこの歌の時間が好評です。

< 課 題 >

参加者の高齢化・固定化が進んできたこと、男性参加者が少ないことが集いの場を運営する中で抱えている課題です。

<今後の展望>

新しい参加者、特に男性参加者を増やしたいです。また、なかなか外に出こない人に積極的に声掛けしていきます。



長町地区社協
岩井会長、西高事務員
長町地区民児協 越田会長

問い合わせ

長町地区社会福祉協議会 TEL 076-231-5730

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

芳斉地区

芳斉ボランティアの会

概況

開始時期	令和元年 11 月	活動場所	芳斉地区全域
------	-----------	------	--------

ボランティア数	20 名程	利用料・参加費	無料
---------	-------	---------	----

活動日時	随時、依頼があったとき
------	-------------

活動対象	芳斉地区にお住まいの 75 歳以上の方
------	---------------------

活動内容	困りごとのお手伝い（ゴミ出し、話し相手、雪かき等）
------	---------------------------

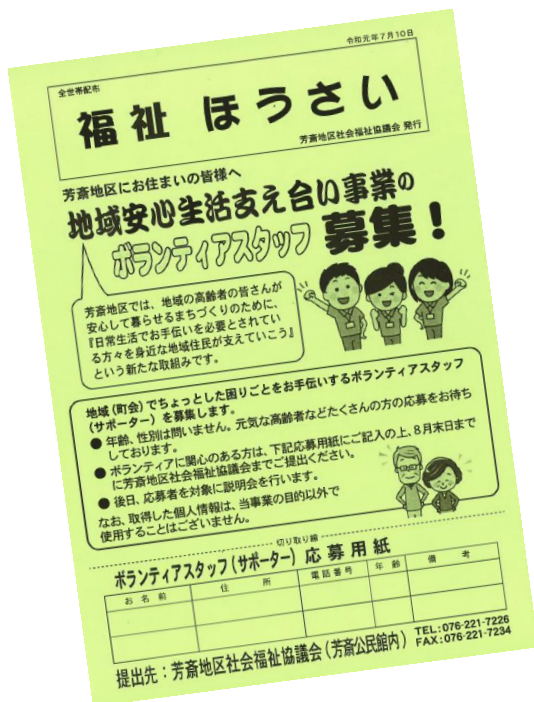
定例会の有無	年 2 回実施予定
--------	-----------

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

事業に取り組むにあたってアンケート調査を行った結果、従来から自然発生的に取り組んでいた“お手伝い”“助け合い”の文化が地区内のあちらこちらにあり、これからも継続していきたいという意見が多数寄せられました。特にゴミ出しについては、向こう三軒両隣の関係の中で協力し合っています。そこで、現在行われている活動をボランティアの仕組みとして位置付けることにしました。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・ゴミ出しや生協の共同購入等を通して、近所同士での顔合わせの機会が意外あるんですね。地域・近所のつながりで様子を知ることができます。高齢者のお手伝いをするばかりではなく、こちらも助けられています。(地域福祉支援コーディネーターOさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

自然発生的に行われている活動を活かすことで、お互い気兼ねのない関係から気軽な支え合い関係に発展させていきます。

< 課 題 >

マンション在住高齢者の困りごとの把握に難しさを感じています。マンションにお住まいの方はなかなか地域の行事に顔を出さないの…。

<今後の展望>

自主的に行われている活動を掘り起こし、活動範囲を拡大して活発化させていきたいと考えています。



芳齋地区社協 虎井会長、松田事務員 扇氏(地域福祉支援コーディネーター)

問い合わせ

芳齋地区社会福祉協議会 TEL 076-221-7226

作成日 令和元年 11 月

作成者 村澤 成美

長田地区 長田てつだい隊

概況

開始時期	平成29年5月	活動場所	長田地区
------	---------	------	------

ボランティア数	16名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	長田地区在住の一人暮らし高齢者（65歳以上）、高齢者のみの世帯、障害者世帯
------	---------------------------------------

活動内容	ゴミ出し、電球交換、草むしり、除雪など
------	---------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	10名
-------------	-----

具体的な取り組み

利用会員とボランティアは、事前に登録が必要です。

長田地区社会福祉協議会で受付後、なるべく対象者宅の近隣のボランティアをマッチングしています。

活動の様子



【ゴミ出しの様子】



【草むしりの様子】

<ボランティア・利用者の声>

- ・ボランティアや利用者同士で、顔見知りになれたことがよかったです。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

あまり無理をせず、できる範囲で活動をしています。

< 課 題 >

積極的にPRを行いながら、活動を活性化させていきたいと思えます。

<今後の展望>

他の機関とも連携・協力をしながら活動をしていきたいと思えます。住民のみなさんから、気軽に頼んでもらえるような存在になりたいと思えます。



長田地区社協会長
橘 昭男 氏

問い合わせ

長田地区社会福祉協議会 TEL 076-223-8400

作成日 令和元年 12月

作成者 上田 浩貴

西地区

高齢者の見守り活動

概況

開始時期	平成29年	活動場所	西地区全体
------	-------	------	-------

ボランティア数	67名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	随時
------	----

活動対象	西地区にお住まいの方
------	------------

活動内容	地域全体でのひとり暮らし高齢者等への見守り活動など
------	---------------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

平成29年11月に、ひとり暮らしの方、高齢者世帯を対象に、ニーズ調査を実施したところ、「除雪・集う場所・話し相手がいない」という意見が多く上がりました。活動内容を検討した結果、顔見知りを増やそうと「声掛け・見守り」活動からスタートすることになりました。

現在は、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員・ウエストサークルボランティアのみなさんを中心に、活動を行っています。

活動の様子

ボランティア募集中

平成30年3月20日
西地区社会福祉協議会
会長 西尾 雅行

「西校下の皆さん、ご一読ください」
いつもは西校下の社会福祉協議会に、ご支援ご協力をお願いありがとうございます。
さて、先日行われた「川城安心支え合い事業」の高齢者アンケートの調査結果を踏まえて、会員の社会福祉協議会や西校下町会連合のご協力・ご支援を厚ながら、西校下の高齢者に合った高齢者のサポートをしていきたいと思っております。
つきましては、簡単な事（電話交換、訪問時の荷がき等）なら手伝って良いと思っておられる方を、募集する事に致しました。少しでもボランティアとしてボランティアへの参加意欲が御座りの方は下記へご記入の上ご連絡ください。
元気な高齢者・学生さん OKです。

あなたの優しい気持ちを、西校下の為に少しだけ分けてください。

本格的にボランティア活動をやりたい方はこちら

(返務) **ちょっこし応援団**

お名前	年齢	住 居	連絡先電話番号

大した事は出来ないけど、せめて名前だけ・だけでも、の方はこちら

(返務) **ちょっこし応援支隊**

お名前	年齢	住 居	連絡先電話番号

詳しくは西地区社会福祉協議会（連絡先076-262-6716）までお問い合わせください。
・この用紙を西公民館へ持参する、又は Fax : 076-262-8185 して下さい。
・メールに必要事項を書いて nishio@spss.kanagawa.jp へ送ってください。
後日改めてご連絡させていただきます。



【打合せの様子】

【ボランティア募集チラシ】

課題・今後の展望

< 課 題 >

活動者が高齢化してしていることもあり、若い方にも参加してもらえようようにしていきたいです。

< 今後の展望 >

「話し相手」だけではなく、ニーズ調査の結果も踏まえながら、活動内容の幅を広げていきたいと考えています。



西地区社協会長
西尾 雅行 氏

問い合わせ

西地区社会福祉協議会 TEL 076-262-6716

作成日 令和2年1月

作成者 上田 浩貴

押野地区

ふれ合いカフェ光陽

概況

開始時期	平成31年4月	活動場所	押野西光陽会館
------	---------	------	---------

ボランティア数	6名	利用料・参加費	無料
---------	----	---------	----

活動日時	毎月第3金曜日 10:00~12:00
------	---------------------

活動対象	押野地区にお住まいの方
------	-------------

活動内容	茶話会、歌、踊り等
------	-----------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	約20名
-------------	------

具体的な取り組み

平成30年度に押野地区で高齢者支援に関するアンケートを実施しました。その結果、身近な場所に居場所が欲しいとわかり、集会所を活用したコミュニティカフェを立ち上げました。

今後は回を重ねていく毎に互いに小さな困りごとにも気軽に相談でき、地域で支え合える「憩いの場」「ふれあいの場」「集いの場」を目指しています。

活動の様子



【おしゃべりが元気の素になっています】



【前期開催日程】

4月	5月	6月	7月	9月
19日	17日	21日	19日	20日

日 時：毎月第3金曜日（8月除く）
10:00～12:00
（いつでもお越しください）
場 所：押野西光陽会館
参加費：無料
押野地域安心生活支え合い事業 COFFEE

<ボランティアの声・利用者の声>

- ・地域でおしゃべりできる居場所として気軽に来てもらい、お茶やお菓子を飲食しながら自由におしゃべりを楽しんでもらいたいです。また、ちょっとした困りごとを話せる居場所にしていきたいです。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

プログラムは用意せず、おしゃべりを楽しんでもらっています。また、気軽に来てもらえるように入退りは自由にしています。

< 課 題 >

男性の参加が少ないことや、地域の方にこのような居場所があることを認知してもらうことが課題になっています。

<今後の展望>

気軽に楽しめる居場所にしていきたいです。

地域の各種関係者も巻き込んで、コミュニティカフェをもっと地域に拡充していきたいです。



責任者
松谷 克明 氏

問い合わせ

押野地区社会福祉協議会 TEL 076-247-0856

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

西南部地区 サロンほほえみ

概況

開始時期	平成28年6月	活動場所	西金沢西部会館
------	---------	------	---------

ボランティア数	8名	利用料・参加費	200円
---------	----	---------	------

活動日時	第3日曜日 10:00~11:30
------	-------------------

活動対象	町会の方であればどなたでも
------	---------------

活動内容	茶話会、季節の行事、歌等
------	--------------

定例会の有無	年1回 2月
--------	--------

平均利用者数・参加者数	20名
-------------	-----

具体的な取り組み

会館を使って集まる機会があったらいいなどの思いから集まりだしたのが立ち上げのきっかけです。

気軽に何でもお話しできるため、情報交換や仲間づくり、相互の見守りの場にもなっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・公民館や児童館のサロンに参加したくても、足腰が弱くて距離もあるので行くことができなかったです。近所にこうして集まっておしゃべりを楽しめる場所があるのは助かります。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

話ができるだけで楽しい居場所となっています。
公民館の文化祭に手作りした作品を出展しています。

< 課 題 >

会館以外の場所での開催も考えており、移動手段を検討していく必要があります。

<今後の展望>

今後は会館だけでなく、外出や小旅行等を通して、参加者同士で親密となり、ここに来てよかったと思えるような居場所にしていきたいです。



ボランティアのみなさん

問い合わせ

西南部地区社会福祉協議会 TEL 076-240-3878

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

西南部地区 いどばたカフェ

概況

開始時期	平成29年10月	活動場所	個人宅 (古府町南第1町会)
------	----------	------	-------------------

ボランティア数	6名	利用料・参加費	200円
---------	----	---------	------

活動日時	第3月曜日 10:00~11:30
------	-------------------

活動対象	町会の方であればどなたでも
------	---------------

活動内容	茶話会、手作り、講師を招き健康についてのお話や体操等
------	----------------------------

定例会の有無	年1回 2月
--------	--------

平均利用者数・参加者数	18名
-------------	-----

具体的な取り組み

ひとりで家にいるだけではダメだとの思いから、地域で広がっていたコミュニティカフェを自宅でもしたいと開放しています。

近所のことや公民館・町会行事など様々な情報を共有したり、お互いを気に掛け合い、支え合う居場所になっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・カフェをしないと友達に相談したら、協力するとみんなが言ってくれたから出ています。
- ・ここに来ればいろんな情報も入るし、気になる方は普段の生活の中でも見守りしています。やっぱり常日頃のつながりや付き合いが大切だと思っています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

いどばたカフェ通信を作成し、活動の広報をしています。
カフェで手作りしたものを公民館の文化祭に出品しています。

<課題>

参加者が固定化してきていることが課題になっています。

<今後の展望>

みんなが気軽に集まり、悩みがあれば相談できる居場所にしていきたいです。また、地域で解決もできる居場所を目指しています。



ボランティアのみなさん

問い合わせ

西南部地区社会福祉協議会 TEL 076-240-3878

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

西南部地区 よるまい会

概況

開始時期	平成29年11月	活動場所	新保本町会館
------	----------	------	--------

ボランティア数	6名	利用料・参加費	200円
---------	----	---------	------

活動日時	第1日曜日 10:00~11:30
------	-------------------

活動対象	町会の方であればどなたでも
------	---------------

活動内容	茶話会、体操、季節の行事等
------	---------------

定例会の有無	年1回 2月
--------	--------

平均利用者数・参加者数	15名
-------------	-----

具体的な取り組み

地域で集まることができる居場所が欲しいとのことで、コミュニティカフェの開催を検討しました。

近隣施設の方も参加しており、介護・病気について気軽に相談できる場にもなっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・一人暮らしだと、おしゃべりする機会が少ないため、こうした場所があればおしゃべりできるので楽しいです。
- ・近所の情報も知る事ができるし、交友も広がりました。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

近隣の病院・施設の力や地域で特技を持った方と連携して開催をしています。

< 課 題 >

参加者の固定化が課題になっています。もっと多くの方に参加していただきたいです。

<今後の展望>

抱えている悩みや困りごとを何でも話すことができ、地域で解決できる居場所にしていきたいです。



ボランティアのみなさん

問い合わせ

西南部地区社会福祉協議会 TEL 076-240-3878

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

西南部地区

古南サロンよってみっかいネ

概況

開始時期	平成30年4月	活動場所	古府町南第2集会所
ボランティア数	3名(4月から5名)	利用料・参加費	200円
活動日時	第2日曜日 10:00~11:30		
活動対象	町会の方であればどなたでも		
活動内容	茶話会、季節の行事、DVD鑑賞、手作り、体操、クイズ等		
定例会の有無	年1回 2月		
平均利用者数・参加者数	20名		

具体的な取り組み

地域サロンに行けない方のために、歩いて来ることができる距離にある町会の集会所を活用し居場所を創りました。

高齢者だけでなく子どもも参加しており、世代間をこえた交流の場となっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・家にいるとしゃべることもないので、ここに来ておしゃべりするのは楽しいです。
- ・顔見知りが増えて交流も広がりました。
- ・いつも来ている方が来ていないときは気になるし、こうして集まれるからこそお互いを気に掛け合う関係にもなっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

毎月回覧でお知らせをしています。
参加者同士で声をかけあって参加しています。

<課題>

参加者の固定化が課題になっています。
男性の参加者が少なく、参加をどう促すかが悩みです。

<今後の展望>

地域のいろいろな方に参加してもらい、気軽になんでも話せる居場所にしていきます。



ボランティアのみなさん

問い合わせ

西南部地区社会福祉協議会 TEL 076-240-3878

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

三和地区

森戸コミュニティカフェ

概況

開始時期	令和元年5月	活動場所	森戸第2町会会館
------	--------	------	----------

ボランティア数	10名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	毎月1回 10:00~12:00 (開催日は参加者と相談して決定)
------	-----------------------------------

活動対象	70歳以上の三和校下の方
------	--------------

活動内容	茶話会、DVD鑑賞、交通安全講習等
------	-------------------

定例会の有無	3カ月に1回
--------	--------

平均利用者数・参加者数	約10名
-------------	------

具体的な取り組み

公民館の地域サロンに行きたいが距離が遠く、森戸町会側にも気軽に集まれる場所がほしいとの声があり、コミュニティカフェを検討しました。

この居場所ができたことで、住民同士のつながり強化や相互が気に掛け合う関係となっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・公民館に行くには、幹線道路を渡らなければならないため、行きたくても行けなかったです。ここができて本当に感謝しています。
- ・このように近場に居場所を作ってもらえると参加もしやすいし、近所の事やいろいろな情報も聞けるので良かったです。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

毎回次回の内容を参加者と話し合っていて決めています。
必ずおしゃべりの時間を設けています。

< 課 題 >

参加者をもっと増やしていく必要があります。

<今後の展望>

地域の多くの方に参加してもらいたいです。
町会の行事や公民館行事などにも参加するきっかけにしてほしいです。



三和地区社協会長
薬種 正明 氏

問い合わせ

三和地区社会福祉協議会 TEL 076-240-7530

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

米丸地区

あんやと会（玉鉾 2 丁目・黒田伏見丘）

概 況

開始時期	①平成 26 年 7 月 ②平成 27 年	活動場所	①玉鉾 2 丁目町会 ②黒田伏見丘町会
------	--------------------------	------	------------------------

ボランティア数	①24 名 ②40 名	利用料・参加費	無料
---------	----------------	---------	----

活動日時	①毎週木曜日 あんやとカフェ終了後 ②随時
------	--------------------------

活動対象	75 歳以上の「一人暮らし高齢者」、「高齢者夫婦」
------	---------------------------

活動内容	友愛訪問、安否確認、ゴミ出し、話し相手 等
------	-----------------------

定例会の有無	①毎週木曜日 ②なし
--------	---------------

平均利用者数・参加者数	8 名
-------------	-----

具体的な取り組み

安否確認として、民生委員が気になっている方を定期的に訪問しています。また、定例会と定めているわけではないが、あんやとカフェが終わった後に、民生委員とあんやと会メンバーで困りごとや気になることを話し合い、情報の共有を図っています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・声掛けなどが近所と交流するきっかけになっています。
- ・訪問してくれるのは嬉しいです。見守られているという安心感があります。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

『ちょっとのお節介』をキーワードに普段の生活の中でお互いを気に掛け合う『向こう三軒両隣の関係』を大事にしています。

< 課 題 >

活動を広げていくために、町会や各種関係者と協議を実施していく必要があります。

<今後の展望>

活動を多くの方に知ってもらい、地域全体でお互いを気に掛け合う関係を構築していきたいです。



米丸校下社協会長
川元 博 氏

問い合わせ

米丸校下社会福祉協議会 TEL 076-291-2947

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

米丸地区 あんやとカフェ

概況

開始時期	平成29年7月	活動場所	食工房 三会
------	---------	------	--------

ボランティア数	24名	利用料・参加費	300円
---------	-----	---------	------

活動日時	毎週木曜日 15:00~16:00
------	-------------------

活動対象	米丸校下にお住いの方
------	------------

活動内容	茶話会
------	-----

定例会の有無	毎週木曜日
--------	-------

平均利用者数・参加者数	8名
-------------	----

具体的な取り組み

町内に集える場がなく、近所の方が気軽に集まれる場があったらいいのにとの思いがきっかけでカフェを立ち上げました。

あんやと会のメンバーの一人がカフェをしており、そのスペースを集いの場として開放しています。無料だと気兼ねになるとの声から、参加費を300円とし、気兼ねなく来てもらえるようにしています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・ここに集まっておしゃべりすることが情報交換の場になっています。
- ・近所の事などをみんなで共有して、気になる人たちに声掛けをしています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

気軽に来ておしゃべりができる居場所となっています。
また、町会等各種関係者も協力して運営しています。

< 課 題 >

男性の参加が少ないことと、時期によっては参加者が少なくなることが課題になっています。

<今後の展望>

多くの方に居場所があることを知ってもらい、こどもから高齢者まで、気兼ねなく来てもらえる居場所にしていきたいです。



ボランティアのみなさん

問い合わせ

米丸校下社会福祉協議会 TEL 076-291-2947

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

新豎地区

そくさいカフェこまちなみ

概況

開始時期	平成27年9月	活動場所	円徳寺
ボランティア数	サポーター40名 のうち15名	利用料・参加費	200円
活動日時	毎月第3木曜日 10:00~11:30		
活動対象	新豎地区にお住まいの方		
活動内容	コミュニティカフェ（30分講演 + 談話）		
定例会の有無	そくさいサポーター定例会（年6回）		
平均利用者数・参加者数	40~50名		

具体的な取り組み

お寺を会場にすることで、参加する高齢者にとってはどこか懐かしさを感じる空間となっていて、みなさんリラックスした表情でおしゃべりを楽しまます。

このカフェには、地区内にあるリハビリテーションアカデミー（専門学校）の学生が授業の一環で参加します。学生にとっては高齢者とのコミュニケーションを学ぶ場、高齢者にとっては学生とのコミュニケーションを楽しむ場として、お互いに充実した時間を過ごしています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・いろいろな人との交流は、参加者にとってもサポーターにとっても、良い刺激になっています。企画を考え、カフェ当日に参加者の喜ぶ顔を見たりすることが毎回楽しみです。元気なうちから集っておしゃべりすることの大切さを実感しています。もっとたくさんの人との出会いの場にしていきたいです。(担当サポーターリーダーMさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

全世代を参加対象者としているので、世代間交流の場になっています。核家族が増える中、高齢者と若い世代・子どもたちが接する貴重な空間です。

<課題>

ボランティアで30分講演をしてくれる人材探し
が難しいところです。ご協力いただける方大募集！

<今後の展望>

子どもたちとの交流がまだまだ少ないので、
保育園・幼稚園・小学校等と連携して交流を
深めていきたいです。



新塲地区社協 砺田会長
栗原氏 (地域福祉支援コーディネーター)

問い合わせ

新塲地区社会福祉協議会 TEL 076-231-0258

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

新豎地区 買い物んいくまい会

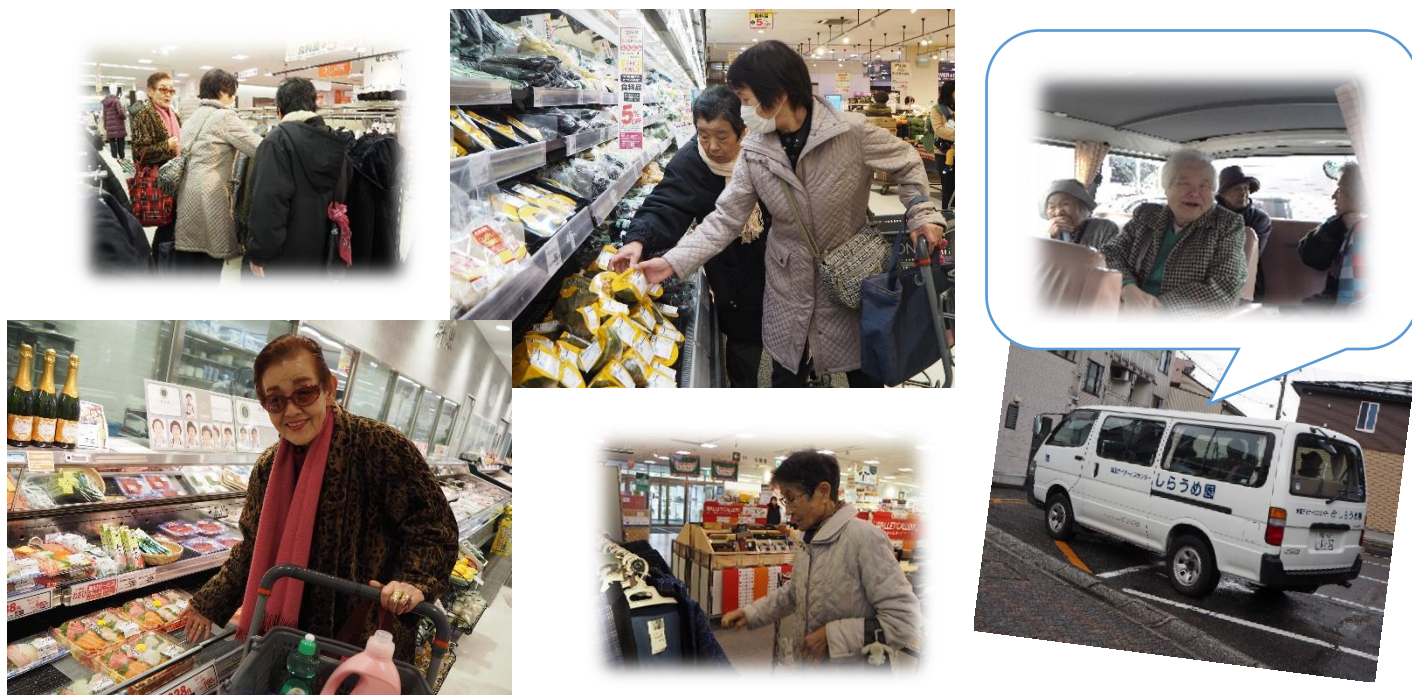
概況

開始時期	平成27年9月	活動場所	イオンもりの里
ボランティア数	サポーター40名 のうち6名	利用料・参加費	—
活動日時	毎週水・金曜日 10:00頃～（月8回）		
活動対象	新豎地区にお住まいの75歳以上の方		
活動内容	買い物・移動支援		
定例会の有無	そくさいサポーター定例会（年6回）		
平均利用者数・参加者数	1回5名程（毎月40名程度）		

具体的な取り組み

新豎地区内を4ブロックに分けて1ブロックにつき月2回実施。利用者は各ブロックの集合場所でバスに乗り、イオンもりの里へ。担当サポーターや運転手さんと一緒にそれぞれ買い物を楽します。帰りは自宅前まで送ってもらえるので、重い荷物も気軽に買うことができ、利用者に大変喜ばれています。また、行き帰りのバスの中もひとつの集いの場としてにぎわっています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・バス内での参加者同士の会話から見守りが必要な方の近況や変化等さまざまな情報が入ってきます。サポーターから担当民生委員に様子を伝えることで継続した見守りにつながっています。支援者にとっても貴重な場です。(担当サポーターMさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

帰りは自宅前でバスを止め、大きな荷物を運ぶときはサポーターや運転手さんがお手伝いしてくれます。「帰りの心配をせずに買い物ができるので嬉しい!」と参加者から大好評です。

<課題>

認知症の症状が出てきた方のスケジュール管理等のフォローが必要となり、サポーターが苦勞する場面も…。

<今後の展望>

活動のPRを工夫して、新たな担い手の確保と支援を必要とする方の発掘につなげたい。



新塲地区民児協 大橋会長
松本氏 (民生委員兼サポーター)

問い合わせ

新塲地区社会福祉協議会 TEL 076-231-0258

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

小立野地区

見守りキーホルダーと地域行事パンフレット（仮称）づくり

概況

開始時期	令和元年度	活動場所	小立野地区全域
------	-------	------	---------

ボランティア数	—	利用料・参加費	無料
---------	---	---------	----

活動日時	—
------	---

活動対象	小立野地区在住高齢者 (キーホルダー登録者令和元年12月時点約70名)
------	--

活動内容	・小立野みまもりキーホルダーの作成 ・地域行事パンフレット（仮称）の作成
------	---

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

<小立野みまもりキーホルダー取組概要>

- ①利用希望者は小立野社協または地域包括支援センターとびうめで登録申込書を記入しキーホルダーを受け取ります。
- ②申込者の情報を登録先（小立野社協と地域包括支援センターとびうめ）が保管・管理します。
- ③キーホルダーには登録番号と登録先電話番号が記されており、緊急時は登録先に登録番号を伝えることで登録先が申込者の緊急連絡先と橋渡しを行います。

活動の様子



地区社協窓口で
受付して、交付
しています。



地域安心生活支えあい事業
小立野みまもりキーホルダー
ご要領の方へ

「もしもの」のための（事故や災害、病気など）
連絡先を書いたものを身につけておきたい。
けれど、個人情報にかかわることだから心配だな・・・
そんなときのために持ち歩ける
「小立野みまもりキーホルダー」に登録してみませんか？

これが、キーホルダーの実物です。
裏面には登録番号の記載のみ、
個人情報等の心配はありません。
書袋持ち歩くもの携帯がばほん、
杖などにつけておきます。
指輪でピカッと光るすぐれもの！

サイズ6センチ×6センチ×2ミリ
後ろに、一人ひとりの登録番号を記入

もしものときは
登録とびうめ | こだつの社協
076-231-3377 | 076-264-0004

安心
安全

- ① 対象
小立野地区にお住いの65歳以上の方
※事前に登録申し込みが必要
- ② 登録方法
※登録窓口で、登録申込書（緊急時あんしんシート）を記入して名簿登録
※自宅に持ち帰った緊急時あんしんシートを冷蔵庫裏に張り付けておく
※変更時または年に一度（誕生日）に情報を更新する
- ③ 登録内容
※緊急時あんしんシートの内容になります
・住所、電話番号、名前、生年月日、性別、血液型
・かかりつけ病院、病名、服薬内容、麻痺の有無
・第1連絡先、第2連絡先 ※連絡先になる人には了解をとっておいてね
・その他（救急隊に伝えたいこと、民生委員やケアマネなど）
- ④ 使い方
もしものとき（事故や災害、病気など）に電話を受けた登録先が問い合わせに応じ、登
録番号を元に名簿登録した連絡先の方との橋渡しを行います。
- ⑤ お申込み ※ どちらでもかまいません
安全都市地域包括支援センターとびうめ 預備町2番1号 (076) 231-3377
小立野社会福祉協議会 小立野4丁目7番51号 (076) 264-0004

小立野社会福祉協議会

<ボランティア・利用者の声>

- ・ こういう形で緊急連絡先を伝える手段があると個人情報が守られるので助かります。
- ・ 普段から連絡がとれる地区社協が窓口なので安心感があります。
- ・ 手軽さと安心感がちょうど良いです。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

みまもりキーホルダーは個人情報に対する不安を除きながら、もしもの時に地区社協・地域包括支援センターという常設窓口が橋渡し役になる安心感を作ることができています。また、民生委員の声かけのきっかけとしても活用されています。

<今後の展望>

見守り活動をより一層充実させるため、地域内で人の交流を促す「地域行事パンフレット（仮称）」の作成を検討しています。今後地域福祉支援コーディネーターを中心に、パンフレットの活用方法や内容等について協議を行う予定です。



小立野地区地域福祉支援
コーディネーター
新谷真由美氏・福村春二氏

問い合わせ

小立野社会福祉協議会 TEL 076-264-0004

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

十一屋地区 コミュニティカフェいんぎ楽っと

概況

開始時期	平成29年3月	活動場所	十一屋生きがい交流館
------	---------	------	------------

ボランティア数	15名程	利用料・参加費	100円（コーヒー代）
---------	------	---------	-------------

活動日時	毎月第1土曜日 13:30~15:00
------	---------------------

活動対象	十一屋地区にお住まいの65歳以上の方
------	--------------------

活動内容	季節の歌、地元ボランティアによる企画等
------	---------------------

定例会の有無	無
--------	---

平均利用者数・参加者数	25~30名程
-------------	---------

具体的な取り組み

事業を始めるにあたってアンケート調査を実施。『話し相手がほしい』という回答が多数あったので、地域サロンの会場とは別ブロック（十一屋、若草、新若草、草和会の4町会）で集いの場を作ることになりました。ボランティアグループ“たすけ♡（あい）たい”のみなさんは4町会にお住まいで、カフェのお手伝いに自ら参加を希望して下さった方たちです。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

・参加者の「楽しかった！」という声を聞くととても嬉しく、次の企画を考えるのも楽しいです。みんなの「楽しいよ(^)」の音が広がって行って参加者の増加につながり、これまで以上に盛り上がっていくと良いなと思います。(ボランティアTさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

近所にお住まいの方々に結成された“たすけ♡(あい)たい”による地元ならではの企画が盛りだくさんです。

< 課 題 >

参加者の高齢化によって出てこれなくなった人たちがいます。特に以前から参加が少なかった男性の割合がさらに減ってきているのが現状です。

<今後の展望>

70歳前後の新しい参加者や新たなボランティアの担い手を増やして、どの年代の方も抵抗なく、楽しく参加できる場にしていきたいです。



十一屋地区社協 高田会長

問い合わせ

十一屋地区社会福祉協議会 TEL 076-244-1132

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

菊川地区 コミュニティカフェと手とて

概況

開始時期	平成31年2月	活動場所	リバーサイド
------	---------	------	--------

ボランティア数	7名	利用料・参加費	100円
---------	----	---------	------

活動日時	毎月第2土曜日 13:30~15:00
------	---------------------

活動対象	菊川地区にお住まいの65歳以上の方
------	-------------------

活動内容	茶話会、季節によってお花見等の企画
------	-------------------

定例会の有無	無（活動後、簡単に反省会）
--------	---------------

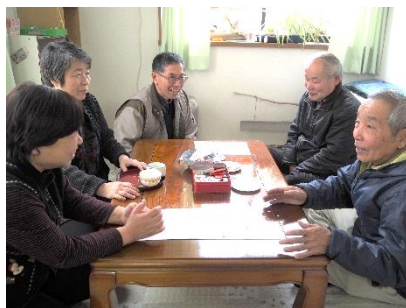
平均利用者数・参加者数	15名程度
-------------	-------

具体的な取り組み

永井善隣館を地域サロンの会場としていますが、大通りをはさんでいるため、上菊橋側の方が参加しづらいという悩みがありました。そこで、本事業に着手したことをきっかけに雪見橋近くのリバーサイドを会場としてカフェを開催することとなりました。あえてプログラムを用意せず、自由な時間を楽しんでもらうことがこのカフェの特徴です。



活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- 这里のお手伝いは本当に楽しいです。地域サロンとまた違った雰囲気なのもこの良さだと感じています。また、あえてプログラムを設けず、誰とでも何でも話せることが過ごしやすい環境につながっているのかなと思います。(サポーターOさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>
 ゆったりと身内感覚で過ごせるところです。あたたかい雰囲気の中、サポーターも参加者も、みんないっしょにくつろいでいます(*´ω`)

< 課題 >
 男性参加者は固定化しつつありますが、女性参加者が少ないです。PR方法を見直して新たな参加者を増やしていきたいと思っています。

<今後の展望>
 現在のカフェの会場と地域サロンの会場があるところとは別のエリアにカフェの増設を考えています。会場を増やすことで、閉じこもり防止や見守り支援につなげていきたいです。



菊川地域安心生活支え合い事業 サポーターのみなさん

問い合わせ
 菊川社会福祉協議会 TEL 076-265-6053

作成日 令和元年 12月
作成者 村澤 成美

崎浦地区

崎浦さわやか隊

概況

開始時期	平成30年12月	活動場所	各まちぐるみ福祉 活動推進チーム単位
------	----------	------	-----------------------

ボランティア数	18名	利用料・参加費	無料
---------	-----	---------	----

活動日時	・原則月1回以上の安否確認訪問 ・まちぐるみ福祉活動推進チーム単位で随時		
------	---	--	--

活動対象	町内の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等で見守り等の関わりを希望する方		
------	-------------------------------------	--	--

活動内容	安否確認のための自宅訪問やゴミステーション・移動スーパーでの買い物時の見守り活動等		
------	---	--	--

定例会の有無	年に2回程度
--------	--------

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

まちぐるみ福祉活動推進チーム単位で、見守り等が必要と思われる高齢者とボランティアのマッチングを行っています。

ボランティアは安否確認につながる自宅訪問やゴミ捨て時の見守り等の活動で対象者と関わっています。対応に悩んだ時は民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員が対応協力する仕組みになっています。

活動の様子



【移動スーパー買い物時の見守り】



【自宅訪問で安否確認】

ご近所でちょっとした
ボランティアしませんか？

大募集

崎浦地区社会福祉協議会では、地域にお住いのひとり暮らしやご夫婦のみの高齢者の方等が、安心して暮らし続けることができるよう、向こう三軒両隣の関係の中で支え合うボランティア、『崎浦さわやか隊』メンバーを募集します。

「できる範囲で
ご近所の役に立ってみたいな」
「これを機に地域デビューだ」
「お話し相手なら私もできるかも」

ボランティアの内容
◆日々のあいさつ
◆お話し相手
◆できる範囲のお手伝い
内容は一緒に考えます！

※本活動は無報酬のボランティア活動になります。

家族で関わる
ファミリーボランティアも大歓迎！

＜ボランティア活動までの流れ＞

① 申し込み	ボランティアに関心のある方は、各町会担当の民生委員またはまちぐるみ福祉活動推進員にお声かけください。
② 登録	崎浦地区社協がボランティア保険の加入と名札の発行をします。
③ 高齢者との 顔合わせ	担当民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員が間に入って、ボランティアに来てほしい高齢者と、ボランティアになった方の顔合わせを行います。 活動内容や日時についても相談して決めましょう。
④ 活動開始	ボランティア活動開始です。何か困った時は、民生委員やまちぐるみ福祉活動推進員がフォローします！

(お問合せ先) 崎浦地区社会福祉協議会事務局 (金沢市小立野2丁目41-36 4階 公設民営)
☎076-231-6851 ※担当民生委員がわからない人はお問い合わせください。

＜ボランティア・利用者の声＞

- ・できる範囲で見守りに関わっているので、大変さは感じていません。
- ・普段からの町内のお付き合い程度の活動なので、続けていきやすいです。
- ・何かあったら民生委員さんが相談にのってくれるので安心感があります。

課題・今後の展望

＜アピールポイント＞

ボランティアと対象者とのマッチングにあたり町内のことをよく知っている民生委員や、まちぐるみ福祉活動推進員が関わっているので、ボランティアを応援する体制ができています。

＜課題＞

ボランティアの人数を増やすことが課題と考えています。

＜今後の展望＞

ボランティアのさらなる確保にむけて、まちぐるみ福祉活動推進員にあらためて取組みの主旨説明する機会を設けていきます。



崎浦地区社協会長

林 勇三 氏

問い合わせ

崎浦地区社会福祉協議会 TEL 076-231-6851

作成日 令和元年 12月

作成者 水橋 佑介

内川地区

内川でづくりサポート隊

概況

開始時期	平成29年	活動場所	内川地区全域
ボランティア数	—	利用料・参加費	—
活動日時	随時、依頼があったとき		
活動対象	内川地区にお住まいのひとり暮らし高齢者		
活動内容	ちょっとした困りごとのお手伝い、除雪等		
定例会の有無	有（地区社協定例会に準ずる）		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

従来から町会ごとに、町会長、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員、ボランティアで協力して困りごとを抱える人のお手伝いをしてきました。その関係を活かして、向こう三軒両隣のつながりで町会内の問題を解決する仕組みを強化することを目的に取り組み始めました。これまで以上に連携を深めるため、各種団体間で役割を整理し、分担しています。

活動の様子

定期的な話し合い
(内川お父さん's ミーティング)



除雪は任せろ☆

日頃の連携の強さは、緊急時の対応の早さにもつながっています☆

<ボランティア・利用者の声>

・昔から続くご近所のつながりの中で、“身近なところに頼める人がいる”という環境は、生まれ育った地域で長く安心して暮らしていくための大きなポイントになっていると思います。世代問わず、お互い様の関係ができあがっています。(地域住民Kさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

昔からある向こう三軒両隣での支え合いの関係、近所での助け合いの関係を活かして、どの世代にとっても充実した地域生活が送れるような環境ができています。高齢者は若い世代を支える側としても活躍しています。

<課題>

現在 50~60 代の人が高齢になったとき、次世代の担い手やキーパーソンの育成が課題となっています。

<今後の展望>

近所での強いつながりを、世代を超えて維持していきたいと願っています。



内川地区社協 山本会長

問い合わせ

内川地区社会福祉協議会 TEL 076-247-2263

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

泉野地区 すこやかカフェ

概況

開始時期	平成31年4月	活動場所	泉野出町三和会分館
------	---------	------	-----------

ボランティア数	5名	利用料・参加費	100円
---------	----	---------	------

活動日時	毎月第3火曜日 10:00~11:30
------	---------------------

活動対象	泉野地区にお住まいの方
------	-------------

活動内容	健康教室・講座、脳トレ、体操、茶話会等
------	---------------------

定例会の有無	有
--------	---

平均利用者数・参加者数	15名程
-------------	------

具体的な取り組み

もともと泉野出町三和会分館では、地域包括支援センターながさかのオレンジカフェが開催されていました。会場の変更に伴って、この会館でのカフェの実施は終了することになったのですが、参加者から「せっかくの集いの場を残してほしい！」という要望が多数寄せられたことをきっかけに、コミュニティカフェを立ち上げることとなりました。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

・いろいろな人と出会ったり話したりできることは、参加者にとってもボランティアにとっても良い刺激になっています。こういった集いの場になかなか出てこられない人にもぜひ参加してもらって、もっとつながりの輪を広げていきたいです。(ボランティアYさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

多方面で活躍している地元の方に講師をお願いしています。身近な人の貴重な体験談に参加者は毎回引き込まれています。

< 課 題 >

継続していく上で、自主財源の確保が大きな課題です。また、会場の増設を目指しているが、ボランティアの担い手不足も悩みのひとつです。

<今後の展望>

ボランティアの増員に向けたPR活動をすすめて盛り上げていきたいです。また、カフェを『気軽に足を運べる相談の場』として進展させることを目指します。



泉野地区社協
北浦会長、守田事務員
紙尾氏(民生委員)

問い合わせ

泉野地区社会福祉協議会 TEL 076-241-3316

作成日 令和元年 11 月

作成者 村澤 成美

中村地区

中村地区ボランティアの会 ～いこいの広場編～

概況

開始時期	平成30年10月	活動場所	中村町善隣館 他
ボランティア数	10名程	利用料・参加費	—
活動日時	地域行事（いこいの広場、サロン、カフェ等）の開催時 その他依頼があったとき		
活動対象	中村地区にお住まいの高齢者 他		
活動内容	地域行事の運営スタッフ、話し相手、見守り・声掛け 等		
定例会の有無	有（活動後に反省会と次回打合せ）		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

中村地区では、ボランティア人材の発掘や高齢者の居場所・生きがいづくりを目指しています。当事業で結成された「中村地区ボランティアの会」が、中村町善隣館が実施する『いこいの広場』をはじめ、善隣館で行われている地域行事等のスタッフとして参加し、活動の場を広げています。『いこいの広場』は、三世交代交流の場として位置付けられ、地域の高齢者が元気なうちから外に出て、地域とつながっていくためのきっかけづくりとして一役買っています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・『いこいの広場』で、子どもたちのにぎやかな声を聞くと元気になりますよ。楽しそうに遊ぶ様子や「喜んでくれるといいな」と思いを込めて作ったごはんをおいしそうに食べてくれる姿を見ると本当に嬉しいです。(ボランティアTさん)

課題・今後の展望

<アピールポイント>

『いこいの広場』は、孫と同居する高齢者・祖父母と同居する子どもが減っている中で、高齢者と子どもがふれあえる貴重な交流の場となっています。

< 課 題 >

男性の参加が少ないので、男性高齢者の外出のきっかけづくりになるような企画を考案中です。さらに、“元気な高齢者”を増やすことを目指しています。

<今後の展望>

企画のひとつとして中村町善隣館では健康マージャンも始めました。ここでもボランティアの会が活躍中です。マージャンをきっかけに集まった方々にも、ボランティアへの参加をすすめていきたいと思っています。



中村地区社協 森田会長

問い合わせ

中村地区社会福祉協議会 TEL 076-247-4447

作成日 令和元年 12月

作成者 村澤 成美

新神田地区

災害時に備えた日頃の見守り関係

概況

開始時期	平成31年4月	活動場所	新神田地区全域
------	---------	------	---------

ボランティア数	77名	利用料・参加費	—
---------	-----	---------	---

活動日時	随時
------	----

活動対象	新神田地区にお住いの方
------	-------------

活動内容	地域全体で災害時の避難誘導や声かけができるように日頃から地域で支え合う関係を目指します。
------	--

定例会の有無	月2回
--------	-----

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

防災の一環として、見守りマップを作成し、ひとり暮らし・要支援者を町会ぐるみで把握し共有しています。

町会等各種関係者と連携することで、非常時だけでなく、日頃から気になる方を見守るための関係づくりを目指しています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・改めて、防災に関して意識を向上することができました。
- ・要支援者の取りこぼしがないように、向こう三軒両隣の関係が大切だと思います。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

組織間で、防災に対する意識を一本化し、共有できています。
町会に加入していない方も対象にしていきたいと考えています。

< 課 題 >

協力してもらえる住民を増やしていくことと共に、
各種関係者と協力し、必要な支援を検討しています。

<今後の展望>

継続していくことで、理解者を増やし、対象者に対して地
域全体で見守っていきたいです。また、災害時には避難誘導
や声かけなど地域で支え合う仕組みにしていきたいです。



新神田地区社協会長
鏑木 芳枝 氏

問い合わせ

新神田地区社会福祉協議会 TEL 076-291-0025

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

米泉地区 結ネット

概況

開始時期	平成31年4月	活動場所	米泉校下全域
ボランティア数	21名	利用料・参加費	無料
活動日時	随時		
活動対象	米泉校下にお住いの方		
活動内容	災害時の見守り、校下の情報共有等		
定例会の有無	必要な時に随時開催		
平均利用者数・参加者数	1100名（2019年11月時点）		

具体的な取り組み

【通常時】

町会の行事やお知らせを登録者に一斉に配信し、いつでも情報の共有ができるようになっています。

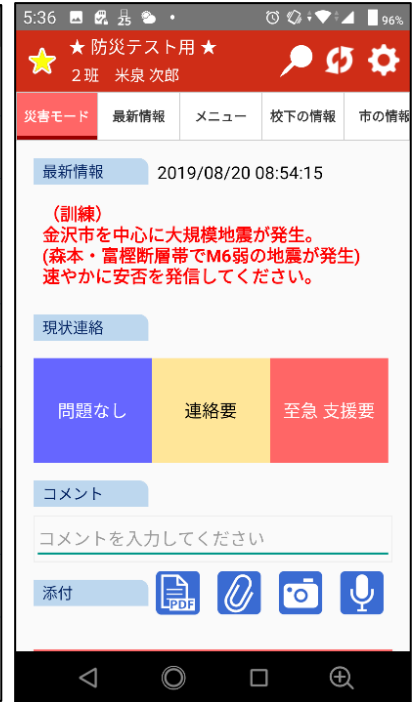
【災害時】

アプリから自身の安否を発信することができるため、安否情報や支援が必要かどうか早期に把握が可能となり、本当に助けが必要な方への迅速な対応につながります。

活動の様子



【通常時の画面】



【災害時の画面】

<ボランティア・利用者の声>

- ・災害の時にこうしたものがあれば安心感を持って生活ができると思います。
- ・回覧板では、内容を忘れてしまうこともあるが、結ネットを使えば、自分が知りたい情報をいつでも振り返ることができるため、非常に助かっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

自分の好きな時に校下の情報を知る事ができます。
災害時の迅速な見守りにつながります。

< 課 題 >

登録者をもっと増やしていかなければならないことが課題です。

スマホを持っていない方の対応について検討が必要です。

<今後の展望>

結ネットをもっと多くの人に活用してもらい、
安全・安心のまちづくりを目指しています。



米泉校下社協会長
山本 秀昭 氏
米泉校下民児協会長
平田 哲也 氏

問い合わせ

米泉校下社会福祉協議会 TEL 076-241-8924

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

富樫地区

見守り・友愛訪問

概況

開始時期	令和元年7月	活動場所	富樫地区全域
ボランティア数	64名	利用料・参加費	無料
活動日時	年3回友愛訪問時 + 随時必要な時		
活動対象	富樫地区にお住いの80歳以上の方		
活動内容	友愛訪問、見守り活動		
定例会の有無	必要に応じて随時開催		
平均利用者数・参加者数	—		

具体的な取り組み

各ブロックごとに民生委員や町会等関係者が地図を囲み、気になる方の情報を共有しています。また、お互いに気になる方や困りごとを話し合い、悩みの解決に向けたヒントや今後の参考にするための情報交換も行っています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・気にかけてもらえるし、安心して生活ができます。
- ・困ったことがあると、この人（いつも見守りで来ている方）ならなんでも言えるし助かっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

情報を共有するのも兼ねて勉強会を重ねて意識向上を図っています。

< 課 題 >

担い手も高齢化してきています。そのため、次世代の若い担い手を育てていく必要があります。

<今後の展望>

地域住民（特に向こう三軒両隣の関係）を中心として協力してもらえるように巻き込んでいき、重層的な見守りを展開していきたいです。



富樫地区社協会長
佐子田 正氏

問い合わせ

富樫地区社会福祉協議会 TEL 076-241-5327

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

伏見台地区

健康・介護予防教室

概況

開始時期	平成28年4月	活動場所	光明寺
------	---------	------	-----

ボランティア数	2名	利用料・参加費	無料 (内容により有料の場合も)
---------	----	---------	---------------------

活動日時	第3木曜日 14:00~16:00
------	-------------------

活動対象	高尾新町会に居住されている方
------	----------------

活動内容	体操、手作り、茶話会等
------	-------------

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	15名
-------------	-----

具体的な取り組み

介護予防を地域に広めていきたいという気持ちから居場所の立ち上げを考えていたところ、町会でも高齢者の居場所づくりを考えていたため、協力して居場所を立ち上げました。

介護予防運動やおしゃべりを楽しむ居場所として、町会と連携しながら運営しています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ・公民館に行くには少し遠くて諦めてしまうが、近所にこうした居場所があると行きやすいので助かっています。
- ・体を動かし、おしゃべりが楽しめるのでここに来るのが生きがいになっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

老人会・町会と連携しながら、活動に取り組んでいます。

< 課 題 >

参加者が固定化してきていることや担い手不足が課題になっています。

<今後の展望>

家に一人でのいるのではなく、ここに来れば仲間がいて、おしゃべりができる、その人にとって生きがいになる場所にしていきたいです。



地域福祉支援
コーディネーター
水上 紘宇 氏

問い合わせ

伏見台地区社会福祉協議会 TEL 076-243-3341

作成日 令和元年 12月

作成者 宮田 亮平

四十万地区

町会単位の居場所づくり

概況

開始時期	平成30年4月	活動場所	各町会単位
------	---------	------	-------

ボランティア数	民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員	利用料・参加費	—
---------	-------------------	---------	---

活動日時	町会毎に随時開催
------	----------

活動対象	地区にお住いの高齢者
------	------------

活動内容	お茶会、歌、体操等。今後は、アンケート調査をもとに高齢者のニーズを把握する。
------	--

定例会の有無	—
--------	---

平均利用者数・参加者数	—
-------------	---

具体的な取り組み

アンケート調査を実施して、高齢者のニーズを把握し、支え合いの仕組みづくりを検討していきます。

四十万地区では集会所がある町会が多いため、集会所を拠点としたコミュニティカフェの設置を方向性として仕組みづくりを考えています。

活動の様子



<ボランティア・利用者の声>

- ここに来れば、なんでもお話しできる。近所の情報を交換する場にもなっています。
- いつも来ている方が来ないと心配になって連絡をする。お互いに気に掛け合う関係にもなっています。

課題・今後の展望

<アピールポイント>

各町会にある集会所を活用し、住民同士の交流が盛んに取組まれています。

< 課 題 >

四十万公民館が新しくできるため、すでにある居場所と連携した活用について今後検討していく必要があります。

<今後の展望>

月1回の開催が多いため、今後は毎週開催といったように開催回数を増やしていきたいです。

公民館も新しくできるため、うまく活用していきたいです。



四十万地区社協会長
北川 雄一 氏

問い合わせ

四十万地区社会福祉協議会 TEL 076-296-1515

作成日 令和2年1月

作成者 宮田 亮平

住民同士の支え合い活動(地域安心生活支え合い事業)事例集

令和2年3月23日 第1刷発行

【発行】 社会福祉法人金沢市社会福祉協議会・金沢市

【問合せ】 社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会 地域福祉課
〒920-0864 金沢市高岡町7番25号 金沢市松ヶ枝福祉館内
TEL 076-231-3571 FAX 076-231-3560
金沢市 福祉局 地域長寿課
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
TEL 076-220-2278 FAX 076-260-7192

※この事例集は、金沢市が実施する「地域安心生活支え合い事業」で取組まれている各地区社会福祉協議会の事例をまとめたものです。